

を加えて100mlとする。

中和エタノール エタノール，中和を見よ。

DEAE-架橋セルロース陰イオン交換体 ($\text{—O—C}_2\text{H}_4\text{—N(C}_2\text{H}_5)_2$ 型)，弱塩基性 多孔性を有するセルロースに架橋して強度をもたせ、ジエチルアミノエチル基を導入した弱塩基性陰イオン交換体を用いる。

定量用L-アスコルビン酸 2-グルコシド アスコルビン酸 2-グルコシド，定量用を見よ。

定量用β-シクロデキストリン β-シクロデキストリン，定量用を見よ。

定量用D-ソルビトール D-ソルビトール，定量用を見よ。

定量用d-α-トコフェロール d-α-トコフェロール，定量用を見よ。

定量用d-β-トコフェロール d-β-トコフェロール，定量用を見よ。

定量用d-γ-トコフェロール d-γ-トコフェロール，定量用を見よ。

定量用d-δ-トコフェロール d-δ-トコフェロール，定量用を見よ。

定量用部分加水分解サポニン 部分加水分解サポニン，定量用を見よ。

定量用マルトール マルトール，定量用を見よ。

定量用D-マンニトール D-マンニトール，定量用を見よ。

定量用ヨウ化イソプロピル ヨウ化イソプロピル，定量用を見よ。

定量用ヨウ化メチル ヨウ化メチル，定量用を見よ。

鉄試験用アスコルビン酸 アスコルビン酸，鉄試験用を見よ。

デキストリン デキストリン水和物を見よ。 $(\text{C}_6\text{H}_{10}\text{O}_5)_n \cdot x\text{H}_2\text{O}$ (特級)

デキストリン水和物 $(\text{C}_6\text{H}_{10}\text{O}_5)_n \cdot n\text{H}_2\text{O}$ [K 8646]

デソキシコール酸ナトリウム $\text{C}_{24}\text{H}_{39}\text{NaO}_4$ 本品は白色の結晶性の粉末で，においはない。

確認試験 本品を乾燥し，赤外吸収スペクトル測定法の臭化カリウム錠剤法により測定するとき，波数 $3,400\text{ cm}^{-1}$ ， $2,940\text{ cm}^{-1}$ ， $1,562\text{ cm}^{-1}$ 及び $1,408\text{ cm}^{-1}$ 付近に吸収帯を認める。

純度試験 類縁物質 本品0.10gをメタノール10mlに溶かし，試料溶液とする。この液1mlを正確に量り，メタノールを加えて正確に100mlとし，標準溶液とする。これらの液につき，薄層クロマトグラフィーを行う。試料溶液及び標準溶液 $10\mu\text{ l}$ ずつを薄層クロマトグラフ用シリカゲルを用いて調製した薄層板にスポットする。次に1-ブタノール/メタノール/酢酸混液(80:40:1)を展開溶媒として約10cm展開した後，薄層板を風乾する。これに硫酸を均等に噴霧し， 105°C で10分間加熱するとき，試料溶液から得た主スポット以外のスポットは，標準溶液から得たスポットより濃くない。

鉄片 Fe 片状のものを用いる。Fe 97.7%以上。磁石により吸引される。

テトラサイクリン $\text{C}_{22}\text{H}_{24}\text{N}_2\text{O}_8$ 日本薬局方テトラサイクリンを用いる。

テトラヒドロホウ酸ナトリウム NaBH_4 (原子吸光分析用)

テトラヒドロホウ酸ナトリウム試液 テトラヒドロホウ酸ナトリウム5gに0.1mol/l \pm L水酸化ナトリウム500mlを加えて溶かす。

テトラベース・クエン酸試液 4,4'-テトラメチルジアミノジフェニルメタン0.25g及

ピクエン酸 1 gを量り，合わせ，水 500mlを加えて溶かす。

4,4'-テトラメチルジアミノジフェニルメタン $C_{17}H_{22}N_2$ 本品は，白～帯青白色の光輝ある葉状結晶で，水に溶けにくく，ジエチルエーテル，エタノール及びベンゼンに溶ける。

融点 90～91℃

デバルダ合金 ~~＝(特級)＝~~ [K 8653]

デンプン ~~＝[でんぷん， 特級]＝~~ K 8658]

デンプン試液 デンプン 1 gを量り，冷水 10mlを加えてよくすり混ぜ，これを熱湯 200ml中にかき混ぜながら徐々に加え，液が半透明となるまで煮沸し，放冷し，静置した後，上澄液を用いる。用時調製する。

銅片 Cu ~~＝[銅， 特級]＝~~ K 8660] 片状のものを用いる。

Cu-PAN 1-(2-ピリジルアゾ)-2-ナフトール（遊離酸） 1 g及びエチレンジアミン四酢酸二ナトリウム銅 ~~四~~ 4水和物 11.1gを混合して調製する。灰だいたい黄色，灰赤褐色又は淡灰紫色の粉末である。

吸光度 本品 0.50gをとり，~~薄めた~~ジオキサン（1→2）に溶かし，正確に 50mlとする。この液 1 mlを正確に量り，メタノールを加えて正確に 100mlとする。この液につき，水を対照とし，紫外可視吸光度測定法により試験を行うとき，波長 470nmにおける吸光度は 0.48以上である。

純度試験 溶状 本品 0.5gを~~薄めた~~ジオキサン（1→2）50mlに溶かすとき，液は黄褐色，澄明である。

Cu-PAN試液 Cu-PAN 1 gを~~薄めた~~ジオキサン（1→2）100mlに溶かす。

d-α-トコフェロール，定量用 $C_{29}H_{50}O_2$ 本品は，淡黄色の~~粘ちまう~~粘稠な液体である。

~~含量~~ 本品は，~~d-α-トコフェロール（ $C_{29}H_{50}O_2$ ） 98.5%以上を含む。~~

確認試験 本品約 5 mgを精密に量り，無水エタノールを加えて溶かして正確に 10mlとする。この液 1 mlを正確に採りとり，~~さらに更に~~無水エタノールを加えて正確に 10mlとした液の吸光度を測定するとき，波長 292nm付近に極大吸収部がある。

比吸光度 $E_{1\%}^{1\text{cm}}$ （292nm付近の極大吸収部）＝ 67～82

本品約 5 mgを精密に量り，無水エタノールを加えて溶かして正確に 10mlとする。この液 1 mlを正確に採りとり，~~さらに更に~~無水エタノールを加えて正確に 10mlとした液の吸光度を測定する。

~~定量法純度試験~~ 類縁物質 本品約 0.05g~~50mg~~を精密に量り，~~n~~ヘキサンを加えて溶かし，正確に 100mlとし，検液とする。この液 1.5mlを正確に量りヘキサンを加えて正確に 100mlとし，比較液とする。検液及び比較液 20 μlにつき，次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い，ピーク面積を自動積分法により測定するとき，検液の主ピーク以外のピークの合計面積は，比較液の主ピーク面積より大きくない。ただし，面積測定範囲は，主ピークの保持時間の約 2 倍までとする。

~~この検液 20 μlを採りとり，次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い，~~

~~主ピークの保持時間の約2倍の範囲について、ピーク面積を自動積分法により測定し、総面積に対する主ピークの面積比を計算する。~~

操作条件

検出器 ~~紫外部吸収検出器~~吸光光度計（測定波長 292nm）

カラム 内径3～6mm，長さ15～25cmのステンレス管

カラム充てん剤 5～10 μ mの液体クロマトグラフィー用シリカゲル

カラム温度 室温（一定）

移動相 ~~ヘキサン~~／~~2-プロパノール~~~~イソプロピルアルコール~~混液（200：1）

流量 主ピークが約5分後に現れるの保持時間が約5分になるように調整する。

d- β -トコフェロール，定量用 C₂₈H₄₈O₂ 本品は、淡黄色の粘ちよう粘稠な液体である。

~~含量 本品は、d- β -トコフェロール（C₂₈H₄₈O₂）98.5%以上を含む。~~

確認試験 本品約5mgを精密に量り、無水エタノールを加えて溶かし正確に10mlとする。この液1mlを正確に採りとり、さらに更に無水エタノールを加えて正確に10mlとした液の吸光度を測定するとき、波長296nm付近に極大吸収部がある。

比吸光度 E_{1cm}^{1%}（296nm付近の極大吸収部）= 77～95

本品約5mgを精密に量り、無水エタノールを加えて溶かして正確に10mlとする。この液1mlを正確に採りとり、さらに更に無水エタノールを加えて正確に10mlとした液の吸光度を測定する。

~~定量法類縁物質 本品約0.05g50mgを精密に量り、ヘキサンを加えて溶かして正確に100mlとし、検液とする。この液1.5mlを正確に量りヘキサンを加えて正確に100mlとし、比較液とする。検液及び比較液20 μ lにつき、次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い、ピーク面積を測定するとき、検液の主ピーク以外のピークの合計面積は、比較液の主ピーク面積より大きくない。ただし、面積測定範囲は、主ピークの保持時間の約2倍までとする。この検液20 μ lを採りとり、次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い、主ピークの保持時間の約2倍の範囲について、ピーク面積を自動積分法により測定し、総面積に対する主ピークの面積比を計算する。~~

操作条件

検出器 ~~紫外部吸収検出器~~吸光光度計（測定波長 292nm）

カラム 内径3～6mm，長さ15～25cmのステンレス管

カラム充てん剤 5～10 μ mの液体クロマトグラフィー用シリカゲル

カラム温度 室温（一定）

移動相 ~~ヘキサン~~／~~2-プロパノール~~~~イソプロピルアルコール~~混液（200：1）

流量 主ピークが約10分後に現れるの保持時間が約10分になるように調整する。

d- γ -トコフェロール，定量用 C₂₈H₄₈O₂ 本品は、淡黄色の粘ちよう粘稠な液体である。

~~含量 本品は、d- γ -トコフェロール（C₂₈H₄₈O₂）98.5%以上を含む。~~

確認試験 本品約5mgを精密に量り、無水エタノールを加えて溶かして正確に10mlとする。この液1mlを正確に採りとり、さらに更に無水エタノールを加

で正確に10mlとした液の吸光度を測定するとき、波長297nm付近に極大吸収部がある。

比吸光度 $E_{1\text{cm}}^{1\%}$ (297nm付近の極大吸収部) = 83~103

本品約5mgを精密に量り、無水エタノールを加えて溶かし正確に10mlとする。この液1mlを正確に採りとり、さらに更に無水エタノールを加えて正確に10mlとした液の吸光度を測定する。

定量法類縁物質 本品約0.05g50mgを精密に量り、~~n~~ヘキサンを加えて溶かして正確に100mlとし、検液とする。この液1.5mlを正確に量りヘキサンを加えて正確に100mlとし、比較液とする。検液及び比較液20 μ lにつき、次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い、ピーク面積を測定するとき、検液の主ピーク以外のピークの合計面積は、比較液の主ピーク面積より大きくない。ただし、面積測定範囲は、主ピークの保持時間の約2倍までとする。この検液20 μ lを採りとり、次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い、主ピークの保持時間の約2倍の範囲について、ピーク面積を自動積分法により測定し、総面積に対する主ピークの面積比を計算する。

操作条件

検出器 紫外線吸収検出器吸光光度計 (測定波長 292nm)

カラム 内径3~6mm, 長さ15~25cmのステンレス管

カラム充てん剤 5~10 μ mの液体クロマトグラフィー用シリカゲル

カラム温度 室温 (一定)

移動相 ~~n~~ヘキサン/2-プロパノールイソプロピルアルコール混液 (200:1)

流量 主ピークが約11分後に現れるの保持時間が約11分になるように調整する。

d- δ -トコフェロール, 定量用 $C_{27}H_{46}O_2$ 本品は、淡黄色の粘ちまう粘稠な液体である。

~~含量~~ 本品は、~~d- δ -トコフェロール ($C_{27}H_{46}O_2$) 98.5%以上を含む。~~

確認試験 本品約5mgを精密に量り、無水エタノールを加えて溶かして正確に10mlとする。この液1mlを正確に採りとり、さらに更に無水エタノールを加えて正確に10mlとした液の吸光度を測定するとき、波長298nm付近に極大吸収部がある。

比吸光度 $E_{1\text{cm}}^{1\%}$ (298nm付近の極大吸収部) = 83~101

本品約5mgを精密に量り、無水エタノールを加えて溶かして正確に10mlとする。この液1mlを正確に採りとり、さらに更に無水エタノールを加えて正確に10mlとした液の吸光度を測定する。

定量法類縁物質 本品約0.05g50mgを精密に量り、~~n~~ヘキサンを加えて溶かして正確に100mlとし、検液とする。この液1.5mlを正確に量りヘキサンを加えて正確に100mlとし、比較液とする。検液及び比較液20 μ lにつき、次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い、ピーク面積を測定するとき、検液の主ピーク以外のピークの合計面積は、比較液の主ピーク面積より大きくない。ただし、面積測定範囲は、主ピークの保持時間の約2倍までとする。この検液20 μ lを採りとり、次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い、主ピークの保持時

~~間の約2倍の範囲について、ピーク面積を自動積分法により測定し、総面積に対する主ピークの面積比を計算する。~~

操作条件

検出器 ~~紫外線吸収検出器~~ 吸光光度計 (測定波長 292nm)

カラム 内径3～6mm, 長さ15～25cmのステンレス管

カラム充てん剤 5～10 μ mの液体クロマトグラフ用シリカゲル

カラム温度 室温 (一定)

移動相 ~~n-ヘキサン/2-プロパノールイソプロピルアルコール~~ 混液 (200:1)

流量 ~~主ピークが約20分後に現れる~~の保持時間が約20分になるように調整する。

ドラージェンドルフ試液 第1液: 塩基性硝酸ビスマス0.85gを量り, 酢酸10ml及び水40mlを加えて溶かす。

第2液: ヨウ化カリウム8gを量り, 水20mlを加えて溶かす。

用時, 第1液5ml, 第2液5ml, 酢酸20ml及び水100mlを混和する。

トリエタノールアミン 2,2',2'-ニトリロトリエタノールを見よ。

トリクロロ酢酸 CCl_3COOH ~~(特級)~~ [K 8667]

トリクロロ酢酸試液 無水酢酸ナトリウム18g, 1mol/Lトリクロロ酢酸溶液110ml及び酢酸19mlを約600mlの水に溶かし, 1mol/L水酸化ナトリウム溶液でpH4.0に調整した後, 1,000mlとする。

トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン $\text{H}_2\text{NC}(\text{CH}_2\text{OH})_3$ ~~本品は, 白色～淡黄色の結晶性の粉末である。2-アミノ-2-ヒドロキシメチルプロパンジオールを見よ。含量 本品は, トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン [$\text{H}_2\text{NC}(\text{CH}_2\text{OH})_3$] 99.0～101.0%を含む。~~

~~融点 169～173℃~~

~~定量法 本品約2gを精密に量り, 水50mlを加えて溶かした後, 1mol/L塩酸滴定する。終点の確認は, 通例, 電位差計を用いる。~~

~~1mol/L塩酸1ml=121.14mg $\text{H}_2\text{NC}(\text{CH}_2\text{OH})_3$~~

2,4,6-トリニトロフェノール $(\text{NO}_2)_3\text{C}_6\text{H}_2\text{OH}$ ~~(特級)~~ [K 8759:1984]

~~本品は淡黄色の結晶で, においはない。徐々に熱すると昇華し, 急激に熱すると爆発的に燃える。~~

~~融点 121～123℃~~

トリフェニルクロルメタン $(\text{C}_6\text{H}_5)_3\text{CCl}$ ~~(特級)~~ [トリフェニルクロロメタン, K 8674:1978]

~~本品は白から帯灰白色もしくは類黄色の結晶又は結晶性の粉末である。~~

~~確認試験 (1)本品の飽和酢酸溶液5mlに水1mlを加えるとき, 白色の沈殿を生じる。~~

~~(2)本品の飽和酢酸溶液5mlに塩酸1mlを加えるとき, 黄色の沈殿を生じる。~~

~~融点 105～113℃~~

トリフェニルホスフィンオキシド $\text{C}_{18}\text{H}_{15}\text{OP}$

性状 本品は, 極わずか褐色みを帯びた白色の粉末である。

純度試験 (1) 融点 156～158℃

(2) 溶状 淡褐色，澄明（1g，アセトン10ml）

(3) 類縁物質 本品をデシケーター中で減圧下24時間乾燥し，その0.01gをメタノールに溶かし，正確に100mlとする。この液1mlを正確に量り，アセトニトリル/水混液(67：33)を加えて正確に100mlとし，検液とする。検液2mlを正確に量り，アセトニトリル/水混液(67：33)を加えて正確に100mlとし，比較液とする。検液及び比較液20 μ lにつき，「スクラロース」の純度試験のトリフェニルホフオスフィンオキシドの操作条件で液体クロマトグラフィーを行い，ピーク面積を測定するとき，検液の主ピーク以外のピークの合計面積は，比較液の主ピーク面積より大きくない。ただし，面積測定範囲は，主ピークの保持時間の2倍までとする。

トリフルオロ酢酸 CF_3COOH 本品は，無色透明の液体で，水に極めて溶けやすく，刺激性のにおいがある。

含量 本品は，トリフルオロ酢酸（ CF_3COOH ）99.0%以上を含む。

確認試験 (1) 本品は，酸性である。

(2) 本品を赤外吸収スペクトル測定法中の液膜法により測定するとき，波長3,180 cm^{-1} ，1,785 cm^{-1} ，1,458 cm^{-1} ，1,170 cm^{-1} ，811 cm^{-1} 及び687 cm^{-1} 付近に吸収帯を認める。

純度試験 不揮発物 0.02%以下

本品10.0gを量り，蒸発した後，100 $^{\circ}\text{C}$ で2時間乾燥後，デシケーター中で約30分間放冷した後，その残留物の重量を量る。

定量法 本品約3gを精密に量り，水30mlを加えて1mol/L水酸化ナトリウム溶液で滴定する。（指示薬 フェノールフタレイン試液）

1mol/L水酸化ナトリウム溶液1ml = 114.02mg CF_3COOH

トリメチルクロロシラン $(\text{CH}_3)_3\text{SiCl}$ [クロロトリメチルシラン，K9555：1992] 本品は，無〜ほとんど無色の液体で，湿った空气中で発煙する。ジエチルエーテルに極めて溶けやすく，水及びエタノールと反応する。

確認試験 本品を赤外吸収スペクトル測定法中の臭化カリウム錠剤法により測定するとき，2,970 cm^{-1} ，1,410 cm^{-1} ，1,260 cm^{-1} ，850 cm^{-1} ，760 cm^{-1} 及び700 cm^{-1} のそれぞれの付近に吸収帯を認める。

純度試験

本品1 μ lにつき，次の操作条件でガスクロマトグラフィーを行う。各々のピーク面積を測定し，面積百分率法により主ピークの量を求めるとき，98.0%以上である。

操作条件

検出器 熱伝導度検出器

カラム充てん剤

液相 担体に対して15〜20%の25%フェニルメチルシリコーンポリマー

担体 180〜250 μm のガスクロマトグラフィー用ケイソウ土

カラム管 内径2〜4mm，長さ2〜3mのガラス管又はステンレス管

カラム温度 70〜80 $^{\circ}\text{C}$ の一定温度

試料気化室 80～100℃の一定温度

検出器温度 80～100℃の一定温度

キャリアーガス ヘリウム

流量 30～40ml/分の一定量。

2,2,4-トリメチルペンタン $(\text{CH}_3)_2\text{CH}(\text{CH}_2)_4\text{CH}_3$ 無色の液で、水にほとんど溶けない。クロロホルム又はジエチルエーテルと混和する。

純度試験 本品につき、水を対照とし、紫外可視吸光度測定法により試験を行うとき、波長230nm、250nm及び280nmにおける吸光度は、それぞれ0.050、0.010及び0.005以下である。

トルエン $\text{C}_6\text{H}_5\text{CH}_3$ ~~(特級)~~ [K 8680]

o-トルエンスルホンアミド $\text{C}_7\text{H}_9\text{NO}_2\text{S}$ 本品は、無色の結晶又は白色の結晶性の粉末である。

融点 157～160℃

純度試験 パラトルエンスルホンアミド 本品の酢酸エチル溶液(1→5,000)につき、成分規格・保存基準各条の項のサッカリンナトリウム中の純度試験(6)に規定する操作条件でガスクロマトグラフィーを行うとき、オルトトルエンスルホンアミドのピーク以外を認めない。

p-トルエンスルホンクロロアミドナトリウム3水和物 $\text{C}_7\text{H}_7\text{ClNNaO}_2\text{S} \cdot 3\text{H}_2\text{O}$
[p-トルエンスルホンクロロアミドナトリウム三水和物, K 8318]

七モリブデン酸六アンモニウム4水和物 $(\text{NH}_4)_6\text{Mo}_7\text{O}_{24} \cdot 4\text{H}_2\text{O}$ [七モリブデン酸六アンモニウム四水和物, K 8905]

ナフタレン C_{10}H_8 ~~(特級)~~ [K 8690:1976]

本品は無色の葉状又は棒状の結晶で、特異なおいがある。常温で徐々に揮散し、点火すると煤の多い炎をあげて燃える。

凝固点 79.5℃以上

α-ナフチルアミン 1-ナフチルアミンを見よ。

1-ナフチルアミン $\text{C}_{10}\text{H}_9\text{N}$ [K 8692]

N-1-ナフチルエチレンジアミン二塩酸塩 $\text{C}_{12}\text{H}_{14}\text{N}_2 \cdot 2\text{HCl}$ ~~(特級)~~ [K 8197]
溶液は、用時調製する。

N-1-ナフチル-N'-ジエチルエチレンジアミンシュウ酸塩 $\text{C}_{18}\text{H}_{24}\text{N}_2\text{O}_4$ ~~(特級)~~ [N-1-ナフチル-N'-ジエチルエチレンジアミンシュウ酸塩, N,N'-ジエチル-N'-1-ナフチルエチレンジアミンシュウ酸塩, 特級] K 8694:1992] 本品は白色の結晶性の粉末で、光によってしだいに着色する。

含量 98.0%以上

確認試験 (1) 本品0.1gに水20mlを加え、加熱して溶かす。これに酢酸(1→3) 1ml及び塩化カルシウム溶液(1→10) 1mlを加えるとき、白色沈殿を生じる。

(2) 本品を赤外吸収スペクトル測定法中の臭化カリウム錠剤法により測定するとき、 $3,340\text{cm}^{-1}$ 、 $1,720\text{cm}^{-1}$ 、 $1,580\text{cm}^{-1}$ 、 $1,530\text{cm}^{-1}$ 、 $1,410\text{cm}^{-1}$ 、 $1,280\text{cm}^{-1}$ 、 770cm^{-1} 、 720cm^{-1} のそれぞれの付近に吸収帯を認める。

融点 約167℃

定量法 本品約0.5gを精密に量り、水100mlを加えて加熱して溶かし、0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液で滴定する。終点の確認は、電位差計を用いる。

0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液 1 ml = 33.24mg C₁₈H₂₄N₂O₄

2-ナフトール C₁₀H₇OH ~~(特級)~~ [K 8699] 遮光して保存する。

β-ナフトール 2-ナフトールを見よ。

α-ナフトールベンゼイン ~~C₂₇H₂₀O₃~~ ~~(特級)~~ p-ナフトールベンゼインを見よ。

p-ナフトールベンゼイン C₂₇H₂₀O₃ [K 8693]

α-ナフトールベンゼイン試液 α-ナフトールベンゼイン 1 gを量り、非水滴定用酢酸を加えて溶かして100mlとする。

ナフトレゾルシン 1,3-ジヒドロキシナフタレンを見よ。C₁₀H₆(OH)₂ ~~本品は、赤褐色の結晶又は灰～灰褐色の粉末で、水、エタノール又はエーテルに溶解やすい。~~

~~融点 122～124℃ (分解)~~

~~鋭敏度 酒石酸溶液 (1→1,000) 2滴に本品の硫酸溶液 (1→10,000) 1 mlを加え、90℃で1時間加熱するとき、青緑～緑青色を呈する。~~

肉エキス 牛肉エキス又はこれと同等のもの。

肉製ペプトン ペプトン、肉製を見よ。

二クロム酸カリウム K₂Cr₂O₇ ~~(特級)~~ [K 8517]

二クロム酸カリウム (標準試薬) K₂Cr₂O₇ [容量分析用標準物質, K 8005]

二酸化硫黄 SO₂ 本品は、無色の気体で、特異なおいがある。本品は、亜硫酸水素ナトリウムの濃溶液に硫酸を滴加して調製する。

二酸化セレン SeO₂ ~~(特級)~~ [K 8706:1994] 本品は白色の結晶で、熱すると昇華する。

強熱残分 0.05%以下

二酸化炭素 CO₂ 「二酸化炭素」

ニシュウ酸三水素カリウム≡2水和物, pH測定用 KH₃(C₂O₄)₂ · 2H₂O ~~← [ニシュウ酸三水素カリウム二水和物, pH標準液測定用, K 8474] →~~

2,2',2''-ニトリロトリエタノール (CH₂CH₂OH)₃N ~~(1級)~~ [K 8663]

5-ニトロソ-8-ヒドロキシキノリン C₉H₆N₂O₂ ~~(特級)~~ [K 8715:1962] 本品は暗緑灰色の結晶性の粉末である。

確認試験 レゾルシンの0.1%エタノール溶液0.05mlをるつぼにとり、水浴上で蒸発乾固し、冷却する。これに、本品0.10gを硫酸100mlに溶かしたものの0.05mlを加え、加温するとき、赤紫色となる。

分解点 約245℃

ニトロプルシドナトリウム ペンタシアノニトロシル鉄(III)酸ナトリウム≡2水和物を見よ。

ニトロプルシドナトリウム試液 ニトロプルシドナトリウム 1 gを量り、水を加えて溶かして20mlとする。用時調製する。

ニトロベンゼン C₆H₅NO₂ ~~(特級)~~ [K 8723]

乳酸 $\text{CH}_3\text{CH}(\text{OH})\text{COOH}$ ~~(特級)~~ [K 8726]

乳酸試液 乳酸12.0gを量り、水を加えて溶かして100mlとする。

乳酸リチウム $\text{LiC}_3\text{H}_5\text{O}_3$ 本品は、白色の粉末又は結晶で、においはない。

液性 pH6.0~7.5 (1.0g, 水20ml)

強熱残分 56.5~58.0% (105°C, 4時間乾燥した試料を使用)

乳製カゼイン カゼイン, 乳製を見よ。

乳糖 乳糖=1水和物を見よ。

乳糖=1水和物 $\text{C}_{12}\text{H}_{22}\text{O}_{11} \cdot \text{H}_2\text{O}$ 日本薬局方乳糖を用いる。

乳糖ブイヨン 普通ブイヨンに乳糖=1水和物を0.5%の割合に加えた後、培地1,000mlに対し、ブロモチモールブルー・水酸化ナトリウム試液約12mlを加える。

次に発酵管に約10mlずつ分注し、蒸気がまを用いて100°Cで15~30分間、1日1回、3日間、間けつ滅菌するか、又は121°Cで約20分間高压蒸気滅菌を行い、速やかに冷水に浸して冷却する。

ニュートラルレッド ~~$\text{C}_{15}\text{H}_{17}\text{N}_4\text{Cl}$~~ $\text{C}_{15}\text{H}_{17}\text{ClN}_4$ ~~(特級)~~ [K 8729:1992]

本品は暗緑色の粉末又は小塊である。

確認試験 本品を赤外吸収スペクトル測定法中の臭化カリウム錠剤法により測定するとき、 $1,620\text{cm}^{-1}$, $1,500\text{cm}^{-1}$, $1,360\text{cm}^{-1}$, $1,320\text{cm}^{-1}$, $1,200\text{cm}^{-1}$, $1,140\text{cm}^{-1}$, $1,010\text{cm}^{-1}$, 880cm^{-1} , 830cm^{-1} , 730cm^{-1} のそれぞれの付近に吸収帯を認める。

変色範囲 本品0.10gに水80mlを加え、加温して溶かす。室温まで冷却し、水を加えて100mlとして検液とする。検液0.1mlずつをリン酸緩衝液(pH6.8)10ml, リン酸緩衝液(pH7.4)10ml及びリン酸緩衝液(pH8.0)10mlに加えるとき、それぞれ赤色, だいたい色, 黄だいたい色を呈する。

尿素 NH_2CONH_2 ~~(特級)~~ [K 8731]

二硫化炭素 CS_2 ~~(特級)~~ [K 8732]

ニンヒドリン ~~$\text{C}_9\text{H}_4\text{O}_3 \cdot \text{H}_2\text{O}$~~ $\text{C}_9\text{H}_6\text{O}_4$ [~~ニンヒドリン(抱水トリケトヒドリンデ~~
~~ン)~~, 特級K 8870]

ニンヒドリン・エチレングリコールモノメチルエーテル試液 エチレングリコールモノメチルエーテル750mlを量り、酢酸緩衝液250mlを加えた後、窒素を通じながらニンヒドリン20g, 次に塩化スズ(Ⅱ)0.38gを加えて溶かす。冷暗所で24時間放置した後使用する。遮光して保存する。

ニンヒドリン・酢酸試液 ニンヒドリン2gを水50mlに溶かし、酢酸緩衝液(酢酸ナトリウム32.8gを水に溶かし、酢酸10ml及び水を加えて100mlとしたもの)25mlを加え、更に水を加えて100mlとする。

ニンヒドリン試液 ニンヒドリン1gを量り、水を加えて溶かして1,000mlとする。

ニンヒドリン・ヒドリンダンチン試液 ニンヒドリン2gを量り、ジメチルスルホキシド75mlを加えて溶かした後、ヒドリンダンチン62mgを加えて溶かし、酢酸リチウム緩衝液を加えて100mlとする。

ネスラー試液 ヨウ化カリウム10gを量り、水10mlを加えて溶かし、かき混ぜながら、塩化水銀(Ⅱ)飽和溶液を徐々に加え、生じた赤色沈殿の一部が溶けないで

残る程度になったならばやめ、水酸化カリウム30gを加えて溶かす。次に、塩化水銀（Ⅱ）飽和溶液1ml及び水を加えて200mlとする。静置して上澄液を用いる。

本液2mlをアンモニア（NH₃）0.05mgを含む水50ml中に加えるとき、液は直ちに黄褐色を呈する。

ハイドロサルファイトナトリウム 亜ジチオン酸ナトリウムを見よ。~~Na₂S₂O₄〔ハイドロサルファイトナトリウム（ハイドロサルファイト）、1級〕~~

薄層クロマトグラフィー用シリカゲル シリカゲル，薄層クロマトグラフィー用を見よ。

薄層クロマトグラフィー用シリカゲル（蛍光剤入り） シリカゲル，薄層クロマトグラフィー用（蛍光剤入り）を見よ。

薄層クロマトグラフィー用微結晶セルロース 微結晶セルロース，薄層クロマトグラフィー用を見よ。

白糖 日本薬局方精製白糖を用いる。

バナジン（Ⅴ）酸アンモニウム NH₄VO₃ [K 8747]

バナジン酸・モリブデン酸試液 メタバナジン酸アンモニウム1.12gを量り，温湯約300mlを加えて溶かし，硝酸250mlを加えた液と，モリブデン酸アンモニウムの粉末27gを量り，温湯約400mlを加えて溶かした液とを混和し，冷後，水を加えて1,000mlとする。着色瓶に入れて保存し，3～4日経過した後用いる。

パラクレゾール p-クレゾールを見よ。~~CH₃·C₆H₄·OH〔p-クレゾール，1級〕~~

パラジメチルアミノベンジリデンロダニン p-ジメチルアミノベンジリデンロダニンを見よ。~~C₁₂H₁₂N₂OS₂〔p-ジメチルアミノベンジリデンロダニン（5-(4-ジメチルアミノベンジリデン)-2-チオキソ-4-チアゾリジノン〕，特級〕~~

パラジメチルアミノベンジリデンロダニン試液 パラジメチルアミノベンジリデンロダニン0.02gを量り，アセトンを加えて溶かし，100mlとする。

パラジメチルアミノベンズアルデヒド p-ジメチルアミノベンズアルデヒドを見よ。~~(CH₃)₂NC₆H₄CHO〔p-ジメチルアミノベンズアルデヒド，特級〕~~

パラジメチルアミノベンズアルデヒド試液 パラジメチルアミノベンズアルデヒド125mgを量り，冷した硫酸（13→20）100mlを加えて溶かし，塩化鉄（Ⅲ）溶液（1→10）0.05mlを加える。本液は，調製後7日以内に用いる。

パラフィン，流動 日本薬局方軽質流動パラフィンを用いる。

パラフェニルフェノール C₆H₅C₆H₄OH 本品は，昇華性を有する白色の結晶である。エタノール，ジエチルエーテル及びクロロホルムに溶け，石油エーテルに溶けにくい。

融点 163～167℃

水分 0.2%以下

強熱残分 0.20%以下

パラフェニルフェノール試液 パラフェニルフェノール0.75gを量り，水酸化ナトリウム溶液（1→25）50mlを加えて溶かす。必要があればろ過する。用時調製する。

パルミチン酸 C₁₆H₃₂O₂ ~~〔特級〕~~ [K 8756]

pH測定用四シュウ酸カリウム 四シュウ酸カリウム，pH測定用を見よ。

pH測定用水酸化カルシウム 水酸化カルシウム，pH測定用を見よ。

pH測定用炭酸水素ナトリウム 炭酸水素ナトリウム，pH測定用を見よ。

pH測定用炭酸ナトリウム 炭酸ナトリウム，pH測定用を見よ。

pH測定用フタル酸水素カリウム フタル酸水素カリウム，pH測定用を見よ。

pH測定用ホウ酸ナトリウム ホウ酸ナトリウム，pH測定用を見よ。

pH測定用無水リン酸二ナトリウム リン酸二ナトリウム，無水，pH測定用を見よ。

pH測定用リン酸一カリウム リン酸一カリウム，pH測定用を見よ。

~~架橋リン酸化セルロース陽イオン交換体 (-O-PO₃H₂型)，強酸性~~ 多孔性を有するセルロースに架橋して強度をもたせ、~~ホスホリルリン酸基~~を導入した強酸性陽イオン交換体を用いる。

ヒ化水素吸収液 ジエチルジチオカルバミン酸銀 0.50gをピリジンに溶かして100mlとする。この液は遮光した共栓瓶に入れ，冷所に保存する。

ピクリン酸 2,4,6-トリニトロフェノールを見よ。

微結晶セルロース，薄層クロマトグラフィー用 微結晶セルロースを薄層クロマトグラフィー用に製造したものをを用いる。

非水滴定用酢酸 酢酸，非水滴定用を見よ。

非水滴定用酢酸第二水銀試液 酢酸第二水銀試液，非水滴定用を見よ。

N,O-ビス(トリメチルシリル)アセトアミド CH₃C[NSi(CH₃)₃]OSi(CH₃)₃ 本品は，無色の液体である。

屈折率 $n_D^{20} = 1.414 \sim 1.418$

比重 0.825～0.835

沸点 71.0～73.0℃ (4.7kPa)

ビス(1-フェニル-3-メチル-5-ピラゾロン) ~~ビス(3-メチル-1-フェニル-5-ピラゾロン)を見よ。C₂₀H₁₈N₄O₂ [ビス(3-メチル-1-フェニル-5-ピラゾロン)]~~

ビス(3-メチル-1-フェニル-5-ピラゾロン) C₂₀H₁₈N₄O₂ [K 9545]

ビタミンA測定用イソプロピルアルコール プロピルアルコール，イソ，ビタミンA測定用を見よ。

ビタミンA測定用ジエチルエーテル ジエチルエーテル，ビタミンA測定用を見よ。

ビタミンA測定用石油エーテル 石油エーテル，ビタミンA測定用を見よ。

4-ヒドラジノベンゼンスルホン酸 C₆H₈N₂O₃S 本品は，白～類白色の粉末である。

比吸光度 $E_{1\text{cm}}^{1\%}$ (253nm付近の極大吸収部) = 749以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後，その0.0100g±0.0mgを量り，酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて溶かして正確に100mlとし，これをA液とする。A液10mlを正確に量り，酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとし，吸光度を測定する。

純度試験 他の芳香族化合物 A液10mlを正確に量り，酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとする。この液20μlを量り，成分規格・保存基準各条の項の食用黄色4号中の純度試験(6)に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき，一つのピークのみを認める。

ヒドラジン(抱水) ~~ヒドラジン1水和物を見よ。NH₂NH₂·H₂O (ヒドラジン1水和物，特級)~~

ヒドラジン 1 水和物 $\text{NH}_2\text{NH}_2 \cdot \text{H}_2\text{O}$ 〔ヒドラジーン-水和物, K 8871:1980〕 本品は無色の吸湿性の液体で特異なおいがある。空气中で発煙する。

含量 本品は ヒドラジン 1 水和物 ($\text{H}_2\text{NNH}_2 \cdot \text{H}_2\text{O}$) 98%以上を含む。

確認試験 本品は、フェーリング液を還元する。

定量法 本品約 1 gを精密に量り、水を加えて正確に200mlとする。この液10mlを正確に量り、300mlの共栓三角フラスコに入れ、水20ml及び塩酸30mlを加えて冷却する。冷後、0.05mol/Lヨウ素酸カリウム溶液で滴定する。終点は、終点近くにクロロホルム5mlを加え、絶えず振り混ぜ、クロロホルム層の紅色が消えたときとする。

0.05mol/L ヨウ素酸カリウム溶液 1 ml = 2.503mg $\text{H}_2\text{NNH}_2 \cdot \text{H}_2\text{O}$

ヒドリندانチン $\text{C}_{18}\text{H}_{10}\text{O}_6$ 本品は、白色の粉末で、水にはほとんど溶けないが、ジオキサソリンにはよく溶ける。

純度試験 ニンヒドリン陽性物質 本品 7 mgを量り、ニンヒドリン・エチレングリコールモノメチルエーテル試液10mlを加えて溶かし、3分間加熱するとき、液は呈色しない。

鋭敏度 本品のエチレングリコールモノメチルエーテル溶液 (1 → 10,000) 10mlにアンモニア試液 1 mlを加えるとき、液は赤色を呈する。

乾燥減量 2.0%以下 (105°C, 3時間)

5-ヒドロキシ-1-(4-スルホフェニル)-3-ピラゾールカルボン酸 $\text{C}_{10}\text{H}_8\text{N}_2\text{O}_6\text{S}$ 本品は、白～類白色の粉末である。

比吸光度 $E_{1\text{cm}}^{1\%}$ (261nm付近の極大吸収部) = 494以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その0.0100g~~10.0mg~~を量り、酢酸アンモニウム溶液(3 → 2,000)を加えて溶かして正確に100mlとし、これをA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3 → 2,000)を加えて正確に100mlとし、吸光度を測定する。

純度試験 他の芳香族化合物 A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3 → 2,000)を加えて正確に100mlとする。この液20μlを量り、成分規格・保存基準各条の項の食用黄色4号中の純度試験(6)に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき、一つのピークのみを認める。

3-ヒドロキシ-2,7-ナフタレンジスルホン酸二ナトリウム $\text{C}_{10}\text{H}_6\text{Na}_2\text{O}_7\text{S}_2$ 本品は、白～類白色の粉末である。

比吸光度 $E_{1\text{cm}}^{1\%}$ (281nm付近の極大吸収部) = 126以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その0.0100g~~10.0mg~~を量り、酢酸アンモニウム溶液(3 → 2,000)を加えて溶かして正確に100mlとし、これをA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3 → 2,000)を加えて正確に100mlとし、吸光度を測定する。また、波長236nm, 273nm, 281nm及び340nmのそれぞれに極大吸収部がある。

純度試験 他の芳香族化合物 A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3 → 2,000)を加えて正確に100mlとする。この液20μlを量り、成分規格・保存基準各条の項の食用赤色2号中の純度試験(6)に規定する操作条件で液体クロマ

トグラフィーを行うとき、一つのピークのみを認める。

7-ヒドロキシ-1,3-ナフタレンジスルホン酸二ナトリウム $C_{10}H_6Na_2O_7S_2$ 本品は、白～類白色の粉末である。

比吸光度 $E_{1cm}^{1\%}$ (288nm付近の極大吸収部) = 150以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その~~0.0100g~~~~10.0mg~~を量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて溶かして正確に100mlとし、これをA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとし、吸光度を測定する。また、波長237nm, 288nm及び336nmのそれぞれに極大吸収部がある。

純度試験 他の芳香族化合物 A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとする。この液20 μ lを量り、成分規格・保存基準各条の項の食用赤色2号中の純度試験(6)に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき、一つのピークのみを認める。

6-ヒドロキシ-2-ナフタレンスルホン酸一ナトリウム $C_{10}H_7NaO_4S$ 本品は、類白色の粉末である。

比吸光度 $E_{1cm}^{1\%}$ (280nm付近の極大吸収部) = 200以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その~~0.0100g~~~~10.0mg~~を量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて溶かして正確に100mlとし、これをA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとした液は、波長280nm及び330nmのそれぞれに極大吸収部がある。

純度試験 他の芳香族化合物 A液1.0mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(7.7→1,000)を加えて正確に100mlとする。この液20 μ lを量り、成分規格・保存基準各条の項の食用赤色40号中の純度試験(8)に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき、6-ヒドロキシ-2-ナフタレンスルホン酸一ナトリウムのピーク以外を認めない。

7-ヒドロキシ-1,3,6-ナフタレントリスルホン酸三ナトリウム $C_{10}H_5Na_3O_{10}S_3$ 本品は、白～類白色の粉末である。

比吸光度 $E_{1cm}^{1\%}$ (288nm付近の極大吸収部) = 105以上

本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その~~0.0100g~~~~10.0mg~~を量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて溶かして正確に100mlとし、これをA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとし、吸光度を測定する。また、波長240nm, 288nm及び344nmのそれぞれに極大吸収部がある。

純度試験 他の芳香族化合物 A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとする。この液20 μ lを量り、成分規格・保存基準各条の項の食用赤色2号中の純度試験(6)に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき、一つのピークのみを認める。

2-ヒドロキシ-1-(2-ヒドロキシ-4-スルホ-1-ナフチルアゾ)-3-ナフトエ酸

$C_{21}H_{14}N_2O_7S$ [K 8776]

~~6-ヒドロキシ-5-(2-メトキシ-5-メチル-4-スルホフェニルアゾ)-8-(2-メトキシ-5-メチル-4-スルホフェノキシ)-2-ナフトレンスルホン酸二ナトリウム塩~~
 ~~$C_{26}H_{22}N_2Na_2O_{13}S_2$~~ 本品は、赤褐色の粉末である。

~~比吸光度 $E_{1\%}^{1cm}$ (517nm付近の極大吸収部) = 500以上~~

~~本品を減圧デシケーター中で24時間乾燥した後、その0.0100g10.0mgを量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)に溶かして正確に100mlとし、これをA液とする。A液10mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(3→2,000)を加えて正確に100mlとした液は、波長515～519nmに極大吸収部がある。~~

~~純度試験 他の色素 A液1.0mlを正確に量り、酢酸アンモニウム溶液(7.7→1,000)を加えて正確に100mlとする。この液20 μ lを量り、成分規格・保存基準各条の頂の食用赤色40号中の純度試験(6)に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき、6-ヒドロキシ-5-(2-メトキシ-5-メチル-4-スルホフェニルアゾ)-8-(2-メトキシ-5-メチル-4-スルホフェノキシ)-2-ナフトレンスルホン酸二ナトリウム塩のピーク以外を認めない。~~

ヒドロキシルアミン試液 塩酸ヒドロキシルアミン20gを量り、水40mlを加えて溶かし、エタノール400ml、0.5mol/lエタノール製水酸化カリウム溶液300ml及びプロモフェノールブルー・水酸化ナトリウム試液2.5mlを加え、30分間放置した後、ろ過する。用時調製する。

2,2'-ビピリジル ($C_5H_4N_2$)₂ [K 8486]

ビフェニル $C_6H_5C_6H_5$ ガスクロマトグラフィー用に製造された上質のものを用いる。

1-(2-ピリジルアゾ)-2-ナフトール $C_{15}H_{11}N_3O$ だいたい黄色又はだいたい赤色の粉末である。

吸光度 本品0.025gを量りとり、メタノールに溶かし、正確に100mlとする。この液2.0mlにメタノールを加えて正確に50mlとした液につき、紫外可視吸光度測定法により試験を行うとき、波長470nmにおける吸光度は0.55以上である。

融点 137～140℃

純度試験 溶状 本品0.025gをメタノール100mlに溶かすとき、液はだいたい黄色、澄明である。

強熱残分 1.0%以下

鋭敏度 本品のメタノール溶液(1→4,000)0.2mlに水50ml、メタノール30ml及び酢酸緩衝液10mlを加えるとき、液は黄色を呈する。これに塩化銅(II)2水和物溶液(1→600)1滴を加えるとき、液は赤紫色を呈し、更に薄めたエチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム試液(1→10)1滴を加えるとき、黄色に戻る。

ピリジン C_5H_5N (特級) [K 8777]

ピリジン、水分測定用 C_5H_5N 水分0.1w/v%以下のピリジンを用い、又はピリジンに水酸化カリウム若しくは酸化バリウムを加え、密栓して数日間放置した後、そのまま湿気を遮って蒸留して調製したものを用いる。湿気を避けて保存する。

ピリジン、無水 C_5H_5N ピリジン100mlを量り、水酸化カリウム10gを加え、24

時間放置した後，上澄液を傾斜して採りとり，蒸留する。

ピリジン・ピラゾロン試液 1-フェニル-3-メチル-5-ピラゾロン0.2gを量り，約75℃の水100mlを加え，振り混ぜて溶かした後，室温まで冷却する（完全に溶けなくても差し支えない。）。これに，あらかじめビス（1-フェニル-3-メチル-5-ピラゾロン）~~20mg~~0.02gを量り，ピリジン20mlを加えて溶かした液を加えて混和する。

~~ピルビン酸 $C_3H_4O_3$ (特級)~~

ピロアンチモン酸水素カリウム ヘキサヒドロキソアンチモン(V)酸カリウムを見よ。

ピロアンチモン酸水素カリウム試液 ピロアンチモン酸水素カリウム2gを量り，水100mlを加え，約5分間煮沸した後，速やかに冷却し，水酸化カリウム溶液(3→20)10mlを加え，24時間放置した後，ろ過する。

ピロガロール $C_6H_3(OH)_3$ ~~(特級)~~ [K 8780]

ピロガロール溶液，アルカリ性 ピロガロール4.5gをガス洗淨瓶に入れ，窒素を2～3分間ガス洗淨瓶に吹き込んで空気を追い出す。次に，水酸化カリウム65gを水85mlに溶かした液をガス洗淨瓶に加える。更にガス洗淨瓶に窒素を吹き込んで完全に空気を追い出す。

ピロリジンジチオカルバミン酸アンモニウム $C_5H_{12}N_2S_2$ ~~(特級)~~

ピロール C_4H_4NH ~~(特級)~~ [K 8787:1961]

本品は無色透明な液体で特異なおいがある。空気中で次第に褐色となる。

確認試験 本品0.5gを50vol%エタノール5mlに溶かし，ニトロプルシドナトリウム試液1ml及び水酸化ナトリウム溶液(1→20)5mlを加えるとき，液の色は緑黄色から次第に緑色となる。煮沸後酢酸を加えて酸性にすると青色を呈する。

比重 0.965～0.975

1,10-フェナントロリン ~~1水和物~~ $C_{12}H_8N_2 \cdot H_2O$ ~~(特級)~~ [1,10-フェナントロリン-水和物, K 8789]

フェニルヒドラジン $C_6H_5NHNH_2$ ~~(特級)~~ [K 8795:1980]

本品は，無～希黄色の透明な液体でわずかに芳香がある。

凝固点 18～20℃

25%フェニルメチルシリコーンポリマー ガスクロマトグラフィー用に製造した上質のものを用いる。

1-フェニル-3-メチル-5-ピラゾロン 3-メチル-1-フェニル-5-ピラゾロンを見よ。 ~~$C_{11}H_{10}N_2O$ (3-メチル-1-フェニル-5-ピラゾロン)~~

フェノール C_6H_5OH ~~(特級)~~ [K 8798]

フェノールフタレイン $C_{20}H_{14}O_4$ ~~(特級)~~ [K 8799]

フェノールフタレイン試液 フェノールフタレイン1gを量り，エタノール100mlを加えて溶かす。

フェノールレッド $C_{19}H_{14}O_5S$ ~~(特級)~~ [K 8800]

フェノールレッド試液 フェノールレッド0.1gを量り，エタノール100mlを加えて溶かし，必要があればろ過する。

フェリシアン化カリウム ヘキサシアノ鉄(Ⅲ)酸カリウムを見よ。

フェーリング試液 銅液：硫酸銅の細かい結晶34.66gを量り，水を加えて溶かして

500mlとする。共栓瓶にほとんど全満して保存する。

アルカリ性酒石酸塩液：酒石酸カリウムナトリウム173g及び水酸化ナトリウム50gを量り，合わせ，水を加えて溶かして500mlとする。ゴム栓をして保存する。用時，両液の等容量を混和する。

フェロシアン化カリウム ヘキサシアノ鉄（Ⅱ）酸カリウムを見よ。

フォリン試液 タングステン酸ナトリウム20g及びモリブデン酸ナトリウム5gを量り，300mlのフラスコに入れ，水約140ml，リン酸（17→20）10ml及び塩酸20mlを加え，すり合わせの還流冷却器を付け，10時間緩やかに煮沸する。次に硫酸リチウム30g及び水10mlを加え，更に臭素ごく少量を加えて濃緑色の液を黄色とし，冷却器を付けずに15分間煮沸して過量の臭素を除く。冷後，水を加えて200mlとし，ガラスろ過器でろ過し，密栓して保存する。

1-ブタノール $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_2\text{CH}_2\text{OH}$ [K 8810]

~~n-ブタノール~~ 1-ブタノールを見よ。

tert-ブタノール *t*-ブチルアルコールを見よ。

2-ブタノン $\text{CH}_3\text{COC}_2\text{H}_5$ [K 8900]

フタル酸 $\text{C}_8\text{H}_6\text{O}_4$ 本品は白色の結晶性の粉末で，メタノールに溶解やすいが，水又はジエチルエーテルに溶けにくい。

含量 本品は，フタル酸（ $\text{C}_8\text{H}_6\text{O}_4$ ）99.0%以上を含む。

純度試験 他の芳香族化合物 本品0.0100g~~10.0mg~~を量りメタノール30mlに溶かした後，酢酸（1→100）を加えて正確に100mlとする。この液10.0mlを量り，酢酸（1→100）/メタノール混液（7：3）を加えて正確に100mlとした液につき，成分規格・保存基準各条の項の安息香酸中の純度試験（6）に規定する操作条件で液体クロマトグラフィーを行うとき，フタル酸のピーク以外を認めない。

定量法 本品約2gを精密に量り，中和エタノール50mlを加えて溶かした後，0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液で滴定する（指示薬 フェノールフタレイン試液2～3滴）。

0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液1ml=8.307mg $\text{C}_8\text{H}_6\text{O}_4$

フタル酸水素カリウム $\text{C}_6\text{H}_4(\text{COOK})(\text{COOH})$ ~~（特級）~~ [K 8809]

フタル酸水素カリウム，pH測定用 $\text{C}_6\text{H}_4(\text{COOK})(\text{COOH})$ ~~（~~ [pH標準液測定用，K 8809] ~~）~~

~~1-ブタノール~~ $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_2\text{CH}_2\text{OH}$ （特級）

~~n-ブタノール~~ 1-ブタノールを見よ。

~~tert-ブタノール~~ $(\text{CH}_3)_3\text{COH}$ [2-メチル-2-プロパノール（*tert*-ブチルアルコール）]，特級]

t-ブチルアルコール $(\text{CH}_3)_3\text{COH}$ [K 8813]

ブチルアルコール，イソ 2-メチル-1-プロパノールを見よ。

普通ブイヨン 肉エキス5g及びペプトン10gを水1,000mlに加え，穏やかに加温して溶かし，滅菌後に~~のpHが6.4～7.0と~~なるように調整し，冷後，蒸発した水を補い，ろ過する。この液を121℃で30分間高圧蒸気滅菌する。

フッ化水素酸 HF ~~←〔ふっ化水素酸，特級〕K 8819〕~~

フッ化ナトリウム NaF ~~←〔ふっ化ナトリウム，特級〕K 8821〕~~

ブドウ糖 C₆H₁₂O₆ 日本薬局方ブドウ糖を用いる。

部分加水分解サポニン，定量用 本品は，白色の結晶で，わずかににおいがある。

~~含量 本品を乾燥したものは，部分加水分解サポニン（C₄₇H₇₂O₁₀）956.5として96.0%以上を含む。~~

確認試験 本品を赤外吸収スペクトル測定法中の臭化カリウム錠剤法により測定するとき，3,240cm⁻¹，2,920cm⁻¹，1,640cm⁻¹，1,150cm⁻¹，1,080cm⁻¹及び1,020cm⁻¹のそれぞれの付近に吸収帯を認める。

純度試験 類縁物質 本品0.010gを0.1%リン酸／アセトニトリル混液（65：35）20mlに溶かし，検液とする。この液4mlを正確に量り0.1%リン酸／アセトニトリル混液（65：35）を加えて正確に100mlとし，比較液とする。検液及び比較液20μlにつき，次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い，ピーク面積を測定するとき，検液の主ピーク以外のピークの合計面積は，比較液の主ピーク面積より大きくない。ただし，面積測定範囲は，溶媒が検出されてから30分間までとする。主ピークは，溶媒が検出されてから約10分後に現れる。

操作条件

検出器 紫外吸光光度計（測定波長 210nm）

カラム充てん剤 5～10μmの液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲル

カラム管 内径4～6mm，長さ15～30cmのステンレス管

カラム温度 40℃

移動相 0.1%リン酸／アセトニトリル混液（65：35）

流量 部分加水分解サポニンの保持時間が約10分となるように調整する。

乾燥減量 2.0%以下（105℃，3時間）

~~定量法 本品0.010gを0.1%リン酸／アセトニトリル混液（65：35）20mlに溶かし，検液とする。検液20μlにつき，次の操作条件で液体クロマトグラフィーを行い，それぞれのピークを自動積分計により，測定する。ただし，溶媒が検出されてから30分間に現れるすべてのピークの総和を100%とし，溶媒が検出されてから約10分後に現れる主ピーク面積の比を求める。~~

操作条件

~~検出器 紫外吸収検出器吸光光度計（測定波長 210nm）~~

~~カラム充てん剤 5～10μmの液体クロマトグラフィー用オクタデシルシリル化シリカゲル~~

~~カラム管 内径4～6mm，長さ15～30cmのステンレス管~~

~~カラム温度 40℃~~

~~移動相 0.1%リン酸／アセトニトリル混液（65：35）~~

~~流量 部分加水分解サポニンの保持時間が約10分となるように調整する。~~

ブリリアントグリーン C₂₇H₃₄N₂O₄S 微細な光沢ある黄色の結晶で，水又はエタノールに溶ける。

極大吸収波長623nm

~~ブルシン $C_{23}H_{26}N_2O_4 \cdot 2H_2O$ (ブルシン二水和物 (2,3-ジメトキシストリキニジン・10-オン・二水和物), 特級)~~

ブルシン n 水和物 $C_{23}H_{26}N_2O_4 \cdot nH_2O$ [K 8832]

1-プロパノール $CH_3CH_2CH_2OH$ [K 8838]

2-プロパノール $(CH_3)_2CHOH$ [~~(特級)~~K 8839]

~~3-プロパノール 1-プロパノールを見よ。 $CH_3CH_2CH_2OH$ (1-プロパノール (n-プロピルアルコール), 特級)~~

2-プロパノール, ビタミンA測定用 再蒸留水を対照にして吸光度を測定するとき, 320~350nmで0.01以下及び300nmで0.05以下である。

プロピオン酸 C_2H_5COOH 「プロピオン酸」

プロピルアルコール, イソ 2-プロパノールを見よ。

プロピルアルコール, イソ, ビタミンA測定用 2-プロパノール, ビタミンA測定用を見よ。

プロピレングリコール $CH_3CH(OH)CH_2OH$ [~~(特級)~~ [K 8837]]

プロピレンクロロヒドリン $CH_3CH(OH)CH_2Cl$ 本品は, 無~微黄色の液体で, 水, エタノール又はジエチルエーテルに溶ける。

含量 本品は, プロピレンクロロヒドリンを70%, 2-クロロ-1-プロパノールを30%含有する。

屈折率 $n_D^{20} = 1.4390 \sim 1.4410$

比重 $d_4^{20} = 1.111 \sim 1.115$

沸点 126~127°C

ブロモクレゾールグリーン $C_{21}H_{14}Br_4O_5S$ [~~(ブロムクレゾールグリーン, 特級)~~ [K 8840]]

ブロモクレゾールグリーン試液 ブロモクレゾールグリーン0.05gを量り, エタノール100mlを加えて溶かし, 必要があればろ過する。

ブロモクレゾールグリーン・メチルレッド混合試液 ブロモクレゾールグリーン試液及びメチルレッド試液の等容量を混和する。

ブロモチモールブルー $C_{27}H_{28}Br_2O_5S$ [~~(ブロモチモールブルー, 特級)~~ [K 8842]]

ブロモチモールブルー試液 ブロモチモールブルー0.1gを量り, 50vol%エタノール100mlを加えて溶かし, 必要があればろ過する。

ブロモチモールブルー・水酸化ナトリウム試液 ブロモチモールブルーを粉末とし, その0.2gに水酸化ナトリウム溶液(4.3→1,000) 5mlを加え, 更に少量の水を加え, 50°Cの水浴中で振り混ぜながら溶かした後, 水を加えて100mlとする。

ブロモフェノールブルー $C_{19}H_{10}Br_4O_5S$ [~~(ブロモフェノールブルー, 特級)~~ [K 8844]]

ブロモフェノールブルー試液 ブロモフェノールブルー0.1gを量り, 50vol%エタノール100mlを加えて溶かし, 必要があればろ過する。

ブロモフェノールブルー試液, クエン酸用 ブロモフェノールブルー試液に等容量のエタノールを加え, 0.01mol/L水酸化ナトリウム溶液を加えてpHを7.0とする。

ブロモフェノールブルー・水酸化ナトリウム試液　ブロモフェノールブルー0.1g
を量り，0.05mol/L水酸化ナトリウム溶液3mlを加え，よく振り混ぜて溶かし，
水を加えて25mlとする。

ヘキサシアノ鉄(Ⅱ)酸カリウム　ヘキサシアノ鉄(Ⅱ)酸カリウム3水和物を見
よ。　 ~~$K_4Fe(CN)_6 \cdot 3H_2O$~~ (特級)

ヘキサシアノ鉄(Ⅲ)酸カリウム　 $K_3[Fe(CN)_6]$ (特級) [K 8802]

ヘキサシアノ鉄(Ⅱ)酸カリウム3水和物　 $K_4Fe(CN)_6 \cdot 3H_2O$ [ヘキサシアノ鉄
(Ⅱ)酸カリウム三水和物，K 8801]

ヘキサニトロコバルト(Ⅲ)酸ナトリウム　 $Na_3[Co(NO_2)_6]$ [K 8347]

ヘキサヒドロキソアンチモン(V)酸カリウム　 $K[Sb(OH)_6]$ (特級) [K
8778:1980]

本品は，白色の粒又は結晶性の粉末である。

確認試験(1)本品の水溶液(1→100)の炎色反応を行うとき，炎の色は紫色を呈す
る。

(2) (1)の液20mlに10%塩化カリウム溶液10mlを加えるとき，15分以内に沈殿を生
じない。

(3) (1)の液20mlにアンモニア水数滴と10%塩化アンモニウム溶液10mlを加える
とき，15分以内に沈殿を生じない。

ヘキサメチルジシラザン ($C(CH_3)_3SiNHSi(CH_3)_3$) [1,1,1,3,3,3-ヘキサメチルジシラザン，K 9556]

n-ヘキサン　ヘキサンを見よ。　 ~~C_6H_{14}~~ (ヘキサン，特級)

ヘキサン　 C_6H_{14} (特級) [K 8848]

ヘキサン，紫外吸収スペクトル測定用　 C_6H_{14} 　蒸留水を対照として本品の吸光度
を測定するとき，220nmで0.10以下，260nmで0.02以下である。また260～350nm
で特異な吸収を認めない。

ヘプタン　 C_7H_{16} (特級) [K 9701]

ペプトン　微生物試験用に製造したもの。

ペプトン，カゼイン製　灰黄色の粉末で，特異なおいがあるが腐敗臭はない。水
に溶けるが，エタノール又はジエチルエーテルに溶けない。

乾燥減量　7%以下(0.5g，105℃，恒量)

強熱残分　15%以下(0.5g)

消化度　本品1gを水10mlに溶かし，試料溶液とし，次の試験を行う。

(1) 試料溶液1mlをとり，水/エタノール/水混液(1:1)10mlに酢酸1ml
を加えた液0.5mlを層積するとき，境界面に輪帯又は沈殿を生じない。また，
この液を振り混ぜるとき混濁しない。

(2) 試料溶液1mlに硫酸亜鉛飽和溶液4mlを加えるとき，少量の沈殿を生じる
(プロテオース)。

(3) (2)の混液をろ過し，ろ液1mlに水3ml及び臭素試液4滴を加えるとき，液
は赤紫色を呈する。

窒素含量　10%以上(105℃，恒量，乾燥後，窒素定量法)

ペプトン，ゼラチン製　微生物試験用に製造したもの。

ペプトン，ダイズ製 微生物試験用に製造したもの。

ペプトン，肉製 微生物試験用に製造したもの。

ヘリウム He 含量99.995vol%以上のものを用いる。

~~ペルオキシ~~ 二硫酸アンモニウム $(\text{NH}_4)_2\text{S}_2\text{O}_8$ ~~(特級)~~ [K 8252]

ベルトラン試液A 硫酸銅の細かい結晶40gを量り，水を加えて溶かして1,000mlとする。共栓瓶にほとんど全満して保存する。

ベルトラン試液B 酒石酸カリウムナトリウム200g及び水酸化ナトリウム150gを量り，水を加えて溶かして1,000mlとする。ゴム栓をして保存する。

ベルトラン試液C 硫酸鉄(Ⅲ)50gを量り，水約500mlを加えて溶かし，硫酸200mlを徐々に加えて振り混ぜ，冷後，ベルトラン試液Dを液がわずかに赤褐色を呈するまで滴加した後，水を加えて1,000mlとする。

ベルトラン試液D 過マンガン酸カリウム5gを量り，水を加えて溶かし，1,000mlとする。

標定 シュウ酸アンモニウム0.25gを正確に量り，水100mlを加えて溶かし，硫酸2mlを加えて60～70℃に加温した後，この過マンガン酸カリウム溶液で滴定し，その滴定量をa mlとすれば，本液1 mlは， $\text{Cu}(0.2238/a)\text{g}$ に対応する。

~~ベンジジン~~ $\text{C}_{12}\text{H}_{12}\text{N}_2$

~~性状~~ 本品は，白色又はわずかに紅色を帯びた結晶性粉末で，空气中で光により次第に暗色に変わる。

~~確認試験~~ 本品0.1gを酢酸10 mlに溶かし，重クロム酸カリウム溶液を加えるとき，深緑色の沈殿を生じる。

~~純度試験~~ (1) 融点 127～129℃

ベンジルアルコール $\text{C}_6\text{H}_5\text{CH}_2\text{OH}$ ~~(特級)~~ [K 8854]

5-ベンジル-3,6-ジオキソ-2-ピペラジン酢酸 $\text{C}_{13}\text{H}_{14}\text{N}_2\text{O}_4$ 本品は，白～灰色の結晶性の粉末で，酸性の水に溶けにくい，中性～アルカリ性の水に溶けやすく，ジメチルスルホキシドに溶ける。

融点 242～246℃

純度試験 他のアミノ又はイミノ化合物 本品の溶液(1→1,000)を検液とし，検液10 μ lにつき，対照液を用いず，クロロホルム/メタノール/水/酢酸混液(32:15:3:1)を展開溶媒として薄層クロマトグラフィーを行う。展開溶媒の先端が原線より約10 cmの高さに上昇したとき展開をやめ，30分間風乾する。これを，あらかじめサラシ粉約3gを入れ，塩酸1 mlを静かに加えて塩素ガスを発生させ，30秒間密閉して充満させたビーカーの中に入れ，密閉して20分間放置する。薄層板を取り出し，10分間放置し，エタノールを噴霧して風乾した後，ヨウ化カリウム・デンプン試液を噴霧して自然光下で観察するとき，一つのスポット以外にスポットを認めない。ただし，薄層板は，薄層クロマトグラフィー用シリカゲルを用い，110℃で1時間乾燥したものを使用する。~~展開溶媒の先端が約10 cmの高さに上昇したとき展開をやめ，30分間風乾する。これを，あらかじめサラシ粉約3gを入れ，塩酸1 mlを静かに加えて塩素ガスを発生させ，30秒間密閉して充満させたビーカーの中に入れ，密閉して20分間~~

~~放置する。薄層板を取り出し、10分間放置し、エタノールを噴霧して風乾した後、ヨウ化カリウム・デンプン試液を噴霧して自然光下で観察する。~~

ベンジルペニシリンカリウム $C_{16}H_{17}KN_2O_4S$ 日本薬局方ベンジルペニシリンカリウムを用いる。

ベンゼン C_6H_6 ~~(特級)~~ [K 8858]

ペンタエリスリトール $C_5H_{12}O_4$ [K 1510]

ペンタシアノニトロシル鉄(III)酸ナトリウム \equiv 2水和物 $Na_2[Fe(CN)_5NO] \cdot 2H_2O$
~~(特級)~~ [ペンタシアノニトロシル鉄(III)酸ナトリウム二水和物, K 8722]

ホウ酸 H_3BO_3 ~~([ほう酸, 特級])~~ [K 8863]

ホウ酸ナトリウム ~~四ホウ酸ナトリウム10水和物を見よ。 $Na_2B_4O_7 \cdot 10H_2O$ (四ほう酸ナトリウム (ほう砂), 特級)~~

ホウ酸ナトリウム, pH測定用 四ホウ酸ナトリウム10水和物, pH測定用を見よ。

抱水クロラール $CCl_3CHO \cdot H_2O$ ~~(1級)~~ [K 8869:1961]

本品は無色透明又は白色の結晶で、刺激性の芳香がある。

含量 99.5%~101.0%

本品約5gを精密に量り、1 mol/L 水酸化ナトリウム溶液50mlを正確に量って加え、2分間放置する。0.5mol/L 硫酸で滴定する。(指示薬 フェノールフタレイン試薬)

1 mol/L 水酸化ナトリウム溶液 1 ml = 165.4mg $CCl_3CHO \cdot H_2O$

没食子酸 $C_7H_6O_5 \cdot H_2O$ ~~(特級)~~ [K 8898:1961]

本品は白~微黄白色の結晶又は粉末である。

確認試験 本品の水溶液 (1 → 50) 5 mlに塩化第二鉄溶液 (1 → 500) 1滴を加えるとき、青黒色の沈殿を生じる。

純度試験 タンニン酸 本品 1.0gに水20mlを加えて良く振り混ぜ、ろ過する。ろ液に1%温ゼラチン溶液 5~6滴をを加えるとき濁らない。

乾燥減量 10%以下 (105°C, 3時間)

ポテトエキス 微生物試験用に製造したもの。

ポリエチレングリコール20M ~~日本薬局方ポリエチレングリコール20M, ガスクロマトグラフィー用を用いる。ガスクロマトグラフィー用に製造した上質のものを用いる。~~

ポリエチレングリコール6000 日本薬局方マクロゴール6,000を用いる。

~~ポリエチレングリコール15000—ジエポキシド, ガスクロマトグラフィー用—ガスクロマトグラフィー用に製造した上質のものを用いる。~~

ポリソルベート20 主としてモノラウリン酸ソルビタンに酸化エチレンを付加重合して得られる。微黄色~黄色の液で、わずかに特異なおいがある。

確認試験 (1) 本品0.5gに水10ml及び水酸化ナトリウム試液10mlを加え、5分間煮沸した後、希塩酸を加えて酸性にすると、油分を分離する。

~~(2) 本品0.5gに水10mlを加えて振り混ぜ、臭素試液5滴を加えるとき、試液の赤色は、消えない。~~

(2) 本品5gをとり、油脂類試験法に準じてけん化した後、エタノールを十分

に留去する。これに水50mlを加えて溶かした後、塩酸酸性(メチルオレンジ)とし、ジエチルエーテル30mlで2回抽出する。ジエチルエーテル層を合わせ、水20mlずつで洗液が中性となるまで洗った後、水浴上でジエチルエーテルを留去し、残留物の酸価を測定するとき275~285である。ただし、けん化にはエタノール製水酸化カリウム試液50mlを用いる。

酸価 4.0以下

けん化価 43~55

乾燥減量 3.0%以下 (5g, 105°C, 1時間)

強熱残分 本品3gを精密に量り、初めは弱く加熱し、徐々に赤熱(800~1200°C)して完全に灰化する。炭化物が残るときは、熱湯を加えて浸出し、定量分析用ろ紙(5種C)を用いてろ過し、残留物をろ紙とともに赤熱する。これにろ液を加えた後、蒸発乾固し、炭化物がなくなるまで注意しながら赤熱する。なお、炭化物が残るときは、エタノール15mlを加え、ガラス棒で炭化物を砕き、エタノールを燃焼させ、更に注意しながら赤熱する。これをデシケーター(シリカゲル)中で放冷した後、重量質量を精密に量るとき、残分は1.0%以下である。

ポリソルベート80 日本薬局方ポリソルベート80を用いる。

ホルマリン ホルムアルデヒド液を見よ。~~HCHO~~ [~~ホルムアルデヒド液(ホルマリン)~~, 特級]

ホルムアルデヒド液 HCHO [K 8872]

ホルマリン・硫酸試液 ホルマリン0.2mlを量り、硫酸10mlを加えて混和する。用時調製する。

マグネシア試液 塩化マグネシウム5.5g及び塩化アンモニウム7gを量り、合わせ、水65mlを加えて溶かし、アンモニア試液35mlを加え、密栓して数日間放置した後、ろ過する。液が澄明でない場合は、用時ろ過する。

マグネシウム粉末 Mg [K 8876]

マグネシウム末 マグネシウム粉末を見よ。~~Mg~~ (特級)

マルトール, 定量用 「マルトール」1g, 水10ml及び活性炭1gの割合で量り、ビーカーに入れ、95°Cに加熱して溶かし、熱時ろ過した後、ろ液を10°Cに冷却し、析出した結晶をろ取する。再結晶品について同様の操作を繰り返した後、得られた再々結晶品を1.3kPa以下の減圧下、40°Cで8時間乾燥する。

D-マンニトール C₆H₁₄O₆ (特級) [K 8882]

D-マンニトール, 定量用 「D-マンニトール」40gを量り、30mlのフラスコに入れ、水100mlを加え、水浴で加温して溶かした後、40°Cに冷却する。次にこの液を300mlのビーカーに移し、「D-マンニトール」~~20mg~~0.02gを加え、混和し、24時間静置する。析出した結晶を吸引ろ過し、冷水10mlで洗う。得られた再結晶品を105°Cで4時間減圧乾燥する。

無アルデヒドエタノール エタノール, 無アルデヒドを見よ。

無水亜硫酸ナトリウム 亜硫酸ナトリウム, 無水を見よ。

無水エタノール エタノール, 無水を見よ。

無水クロロホルム クロロホルム, 無水を見よ。

無水酢酸 $(\text{CH}_3\text{CO})_2\text{O}$ ~~(特級)~~ [K 8886]

無水酢酸ナトリウム 酢酸ナトリウム，無水を見よ。

無水酢酸・ピリジン試液 無水酢酸25gを量り，無水ピリジンを加えて100mlとする。
用時調製する。

無水炭酸カリウム 炭酸カリウム，無水を見よ。

無水炭酸ナトリウム 炭酸ナトリウム，無水を見よ。

無水ピリジン ピリジン，無水見よ。

無水フタル酸 $\text{C}_6\text{H}_4(\text{CO})_2\text{O}$ ~~(特級)~~ [K 8887]

無水硫酸銅 硫酸銅，無水を見よ。

無水硫酸ナトリウム 硫酸ナトリウム，無水を見よ。

無水リン酸二ナトリウム リン酸二ナトリウム，無水を見よ。

無ヒ素亜鉛 亜鉛，無ヒ素を見よ。

無ヒ素塩酸 塩酸，無ヒ素を見よ。

メタ過ヨウ素酸ナトリウム NaIO_4 ~~([過よう素酸ナトリウム]メタ過よう素酸ナトリウム，特級)~~ [K 8256]

メタ過ヨウ素酸ナトリウム試液 メタ過ヨウ素酸ナトリウム1.25gを量り，水を加えて溶かして100mlとする。

メタノール CH_3OH ~~[メタノール(メチルアルコール)，(特級)]~~ [K 8891]

メタノール，カルボニル基除去 メタノール500mlにジラール試薬P 5 gと濃塩酸0.2mlを加え，2時間還流する。短いヴィグリュウカラムを用いて蒸留した後，ガラス瓶に密栓し保管する。

メタノール，水分測定用 CH_3OH 水分0.05w/v%以下のメタノールを用いるか，又はメタノール1,000mlを量り，マグネシウム末5gを加え，水分吸尿管(水分測定用塩化カルシウム)を付けた還流冷却器を用いて加熱し，必要があれば塩化水銀(Ⅱ)0.1gを加えて反応を促進させ，ガスが発生しなくなった後，湿気を避けて蒸留して調製したものをを用いる。湿気を避けて保存する。

5%メタノール含有-1,2-ジメトキシエタン試液 メタノール5mlを量り，1,2-ジメトキシエタンを加えて100mlとする。冷蔵保存するとき，少なくとも3ヶ月間は安定である。

メタノール製35%水酸化カリウム試液 35%水酸化カリウム試液，メタノール製を見よ。

メタノール製5%水酸化ナトリウム試液 5%水酸化ナトリウム試液，メタノール製を見よ。

メタバナジン酸アンモニウム バナジン(V)酸アンモニウムを見よ。 ~~NH_4VO_3 [バナジン酸アンモニウム(メタバナジン酸アンモニウム)，特級]~~

メタリン酸 HPO_3 ~~([メタリン酸]，特級)~~ [K 8890]

メチルイソブチルケトン 4-メチル-2-ペンタノンを見よ。 ~~$\text{CH}_3\text{COCH}_2\text{CH}(\text{CH}_3)_2$ [4-メチル-2-ペンタノン(メチルイソブチルケトン)，特級]~~

4-メチルイミダゾール $\text{C}_4\text{H}_6\text{N}_2$ 本品は，淡黄色の結晶又は結晶性の粉末で，わずかに特異なおいがある。水，エタノール，アセトン又はクロロホルムに溶けや

すく、吸湿性がある。

含量 本品は、4-メチルイミダゾール(C₄H₆N₂)97.0%を含む。

沸点 262～264℃

融点 46～48℃

定量法 本品約0.2gを精密に量り、非水滴定用酢酸50mlを加えて溶かし、0.1mol/l過塩素酸液で滴定する。終点の確認は、電位差計を用いる。別に空試験を行い補正する。

0.1mol/l過塩素酸液 1 ml = 8.211mg C₄H₆N₂

メチルエチルケトン ~~2-ブタノンを見よ。CH₃COCH₂CH₃ (2-ブタノン, 特級)~~

メチルイエロー C₁₄H₁₅N₃ [メチルイエロー, K 8494]

メチルイエロー試液 メチルイエロー 0.10gをエタノール200mlに溶かす。

メチルオレンジ C₁₄H₁₄N₃NaO₃S ~~(特級)~~ [K 8893]

メチルオレンジ・インジゴカルミン試液 メチルオレンジ0.1g及びインジゴカルミン0.25gを量り、合わせ、水を加えて100mlとする。遮光して保存し、調製後15日以内に使用する。

メチルオレンジ・キシレンシアノールFF試液 メチルオレンジ 1 g及びキシレンシアノールFF 1.4gを量り、合わせ、50vol%エタノール500mlを加えて溶かす。

メチルオレンジ試液 メチルオレンジ0.1gを量り、水100mlを加えて溶かし、必要があればろ過する。

メチルシリコンポリマー ガスクロマトグラフィー用に製造した上質のものを用いる。

3-メチル-1-フェニル-5-ピラゾロン C₁₀H₁₀N₂O [K 9548]

3-メチル-1-ブタノール (CH₃)₂CHCH₂CH₂OH ~~([特級] K 8051)~~

2-メチル-1-プロパノール (CH₃)₂CHCH₂OH ~~([特級] K 8811)~~

4-メチル-2-ペンタノン CH₃COCH₂CH(CH₃)₂ [K 8903]

メチルレッド C₁₅H₁₅N₃O₂ ~~(特級)~~ [K 8896]

メチルレッド試液 メチルレッド0.1gを量り、エタノール100mlを加えて溶かし、必要があればろ過する。

メチルレッド・メチレンブルー混合試液 メチルレッド試液及びメチレンブルー試液の等容量を混和する。

メチレンブルー ~~C₁₆H₁₈ClN₃S·nH₂O C₁₆H₁₈N₃S·Cl·3H₂O (メチレンブルー(2水塩, 3水塩, 4水塩), 特級)~~ [K 8897]

メチレンブルー試液 メチレンブルー0.1gを量り、エタノール100mlを加えて溶かし、必要があればろ過する。

メチレンブルー試液, 希 メチレンブルー試液 1 mlを量り、水を加えて100mlとする。

2-メトキシエタノール CH₃OCH₂CH₂OH [K 8895]

4-メトキシベンズアルデヒド C₈H₈O₂ 無色～淡黄色澄明の液で、エタノール又はジエチルエーテルと混和し、水にはほとんど溶けない。

比重 $d_4^{20} = 1.123 \sim 1.129$

含量 97.0%以上

定量法 本品約0.8gを精密に量り、ヒドロキシルアミン試液7.5mlを正確に加え、よく振り混ぜて、30分間放置した後、0.5mol/4L塩酸で滴定する（指示薬 ブロモフェノールブルー試液3滴）。ただし、滴定の終点は液の青色が緑色を経て黄緑色になるときとする。同様の方法で空試験を行う。

0.5mol/4L塩酸 1 ml = 68.08mg $C_8H_8O_2$

4-メトキシベンズアルデヒド・硫酸試液 エタノール 9 mlに4-メトキシベンズアルデヒド0.5ml及び硫酸0.5mlを加え、よく混和する。

2-メトキシ-5-メチルアニリン $C_8H_{11}NO$ 本品は、白～灰色の結晶性の粉末で、水に溶けにくく、メタノール及びエタノールに溶ける。

確認試験 (1) 本品をメタノール/0.01mol/L 酢酸アンモニウム混液 (1 : 1) を加えて溶解した液は、波長290nm付近に極大吸収部がある。

(2) 本品を赤外吸収スペクトル測定法中の臭化カリウム錠剤法により測定するとき、 $3,410cm^{-1}$ 、 $2,950cm^{-1}$ 、 $1,630cm^{-1}$ 、 $1,520cm^{-1}$ 、 $1,230cm^{-1}$ 、 $1,030cm^{-1}$ 及び $780cm^{-1}$ のそれぞれの付近に吸収帯を認める。

融点 47～54℃

モリブデン酸アンモニウム セモリブデン酸六アンモニウム 4 水和物を見よ。(NH₄)₆Mo₇O₂₄·4H₂O (特級)

モリブデン酸アンモニウム試液 三酸化モリブデンの粉末6.5gを量り、水14ml及びアンモニア水14.5mlの混液を加えて溶かす。この液を冷却し、硝酸32ml及び水40mlの冷混液にかき混ぜながら徐々に加え、48時間放置した後、ガラス繊維ろ紙を用いて吸引ろ過する。本液は、長期の保存に耐えない。本液 5 mlを量り、リン酸二ナトリウム溶液 (1 → 8) 2 mlを加えるとき、直ちに、又はわずかに加温した後、多量の黄色沈殿を生じなければ、この液は、使用できない。遮光して保存する。沈殿が生じた場合は、上澄液を用いる。

モリブデン酸アンモニウム・硫酸試液 モリブデン酸アンモニウム18.8gを量り、水300mlを加えて溶かし、硫酸150mlを加え、更に水を加えて500mlとする。

モリブデン酸ナトリウム ~~モリブデン酸ナトリウム Na₂MoO₄·2H₂O (特級)~~
モリブデン (VI) 酸二ナトリウム 2 水和物を見よ。

モリブデン (VI) 酸二ナトリウム 2 水和物 $Na_2MoO_4 \cdot 2H_2O$ [モリブデン (VI) 酸二ナトリウム二水和物, K 8906]

モルホリン C_4H_9NO 本品は、塩基性の無色の液体で、アンモニアようのにおいがあり、水、ベンゼン及び四塩化炭素に溶ける。

屈折率 $n_D^{20} = 1.452 \sim 1.457$

比重 $d_{20}^{20} = 0.998 \sim 1.005$

陽イオン交換樹脂, 強酸性 本品は、強酸性のポリスチレンスルホン酸のナトリウム塩で、淡黄～黄褐色で、その粉末度は、標準網ふるい590 μmを通過し、標準網ふるい420 μmをほとんど通過しない。

本品約50gを量り、水に30分間浸した後、内径約2.5cm 25mmのクロマトグラフィー用ガラス管に水とともに流し込んで樹脂柱を作る。これに塩酸 (1 → 4)

250mlを注ぎ，1分間約4mlの速さで流出させた後，洗液がブロモクレゾールグリーン試液で緑～青色を呈するまで水洗し，次の試験を行う。

この樹脂10mlを量り，内径~~1.5cm~~15mmのクロマトグラフィー用ガラス管に水とともに流し込み，0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液80mlを1分間約2mlの速さで流出させた液は~~の~~pHは~~、~~5.0～6.5である。

陽イオン交換樹脂，強酸性（微粒） 本品は，強酸性のポリスチレンスルホン酸の水素イオン型で，淡黄～黄褐色で，その粉末度は，標準網ふるい150 μ mを通過し，標準網ふるい75 μ mをほとんど通過しない。

本品約50gを量り，水に約1時間浸し，その上澄液が~~透明~~澄明になるまで2～3回傾瀉した後，内径約~~2.5cm~~25mmのクロマトグラフィー用ガラス管に水とともに流し込んで樹脂柱を作る。これに~~薄めた~~塩酸（1→4）250mlを注ぎ，1分間約4mlの速さで流出させた後，洗液がブロモクレゾールグリーン試液で緑～青色を呈するまで水洗し，次の試験を行う。

この樹脂10mlを量り，内径~~1.5cm~~15mmのクロマトグラフィー用ガラス管に水とともに流し込み，0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液80mlを1分間約2mlの速さで流出させた液は~~の~~pHは~~、~~4.0～6.5である。

陽イオン交換樹脂，弱酸性（微粒） 本品は，弱酸性のメタクリル系カルボン酸の水素イオン型で，白色で，その粉末度は，標準網ふるい150 μ mを通過し，標準網ふるい75 μ mをほとんど通過しない。

本品約50gを量り，水に約1時間浸し，その懸濁している上澄液が~~透明~~澄明になるまで2～3回傾瀉した後，内径約~~2.5cm~~25mmのクロマトグラフィー用ガラス管に水とともに流し込んで樹脂柱を作る。これに~~薄めた~~塩酸（1→4）250mlを注ぎ，1分間約4mlの速さで流出させた後，洗液がブロモクレゾールグリーン試液で緑～青色を呈するまで水洗し，次の試験を行う。

この樹脂10mlを量り，内径~~1.5cm~~15mmのクロマトグラフィー用ガラス管に水とともに流し込み，0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液80mlを1分間約2mlの速さで流出させた液は~~の~~pHは~~、~~4.0～6.5である。

ヨウ化亜鉛・デンプン試液 100mlを煮沸し，これにヨウ化カリウム溶液（3→20）5ml及び塩化亜鉛溶液（1→5）10mlを加え，煮沸しながら，あらかじめデンプン5gを量り，冷水30mlを加えて均一に懸濁した液をかき混ぜながら加え，更に2分間煮沸した後冷却する。密栓して冷所に保存する。

溶解アセチレン C₂H₂ [K 1902]

ヨウ化イソプロピル，定量用 C₃H₇I 無色澄明の液で，光によりヨウ素を遊離して褐色となる。エタノール，ジエチルエーテル又は石油ベンジンと混和し，水と混和しない。蒸留して89.0～89.5℃の留分を用いる。

含量 本品は，ヨウ化イソプロピル（C₃H₇I）98.0%以上を含む。

比重 $d_4^{20} = 1.700 \sim 1.710$

純度試験 本品1 μ lにつき，ヒドロキシメチルプロピルセルロースの定量法に規定する操作条件に従い，ガスクロマトグラフィーを行う。各々のピーク面積を

自動積分法により測定し、面積百分率法によりヨウ化イソプロピルの量を求めるとき、99.8%以上である。ただし、検出感度は本品1 μlから得たヨウ化イソプロピルのピーク高さがフルスケールの約80%になるように調整する。

定量法 褐色メスフラスコにエタノール10mlを入れ、その重量を精密に量り、これに本品1mlを加え再び精密に量る。次にエタノールを加えて正確に100mlとし、その20mlを褐色メスフラスコに正確に量り、0.1mol/L硝酸銀溶液50mlを正確に加え、更に硝酸2mlを加えて栓をし、2時間暗所で時々振り混ぜた後、暗所で一夜放置する。次に2時間時々振り混ぜた後、水を加えて正確に100mlとし、乾燥ろ紙を用いてろ過する。初めのろ液20mlを除き、次のろ液50mlを正確に量り、過量の硝酸銀を0.1mol/Lチオシアン酸アンモニウム溶液で滴定する（指示薬 硫酸第二鉄アンモニウム試液2ml）。同様の方法で空試験を行う。

0.1mol/L 硝酸銀溶液1ml=17.00mg C₃H₇I

ヨウ化カリウム KI ~~（よう化カリウム，特級）~~ K 8913

ヨウ化カリウム試液 ヨウ化カリウム16.5gを量り、水を加えて溶かして100mlとする。遮光して保存する。

ヨウ化カリウム・デンプン紙 新たに調製したヨウ化カリウム・デンプン試液にろ紙を浸して清浄な室で乾燥する。共栓瓶に入れ、光及び湿気を避けて保存する。

ヨウ化カリウム・デンプン試液 デンプン0.5gを量り、水50～60mlを加え、加熱して溶かし、ヨウ化カリウム0.5g及び水を加えて溶かして100mlとする。

ヨウ化水銀カリウム試液 塩化水銀（Ⅱ）1.358gを量り、水60mlを加えて溶かし、ヨウ化カリウム溶液（1→2）10mlを加え、水を加えて100mlとする。

ヨウ化水素酸 HI ~~（よう化水素酸，特級）~~ K 8917

ヨウ化ナトリウム NaI ~~（よう化ナトリウム，特級）~~ K 8918:1994

本品は白色の結晶性の粉末で、潮解性がある。

含量 本品を乾燥したものは、ヨウ化ナトリウム（NaI）99.5%以上を含む。

確認試験 本品の水溶液（1→200）を無色炎中で熱するとき、炎の色は黄色を呈する。

乾燥減量 0.5%以下（110℃，2時間）

定量法 乾燥した本品約0.5gを精密に量り、300mlの共栓フラスコに入れ、水25mlを加えて溶かし、5℃以下に冷却する。5℃以下に冷却した塩酸35ml及びクロロホルム5mlを加えて、良く振りながら0.05mol/Lヨウ素酸カリウム溶液で滴定する。水層のヨウ素の色が消えるまで滴定し、栓をして激しく振る。次に1滴加えるたびに激しく振り混ぜ、クロロホルム層の紫色が完全に脱色した点を終点とする。

0.05mol/Lヨウ素酸カリウム溶液1ml=14.99mg NaI

ヨウ化メチル，定量用 CH₃I 無色澄明の液で、光によりヨウ素を遊離して褐色となる。エタノール又はジエチルエーテルと混和し、水にやや溶けにくい。蒸留して42.2～42.6℃の留分を採るとる。

含量 本品は、ヨウ化メチル（CH₃I）98.0%以上を含む。

比重 $d_{25}^{25} = 2.27 \sim 2.28$

純度試験 本品 $1 \mu\text{l}$ につき，ヒドロキシメチルプロピルセルロースの定量法に規定する操作条件に従い，ガスクロマトグラフィーを行う。各々のピーク面積を自動積分法により測定し，面積百分率法によりヨウ化メチルの量を求めるとき，99.8%以上である。ただし，検出感度は本品 $1 \mu\text{l}$ から得たヨウ化メチルのピーク高さがフルスケールの約80%になるように調整する。

定量法 定量用ヨウ化イソプロピルの定量法と同様に操作し，試験を行う。

0.1mol/L 硝酸銀溶液 $1\text{ml} = 14.194\text{mg CH}_3\text{I}$

ヨウ素 I_2 ~~(よう素，特級—K 8920)~~

ヨウ素酸カリウム (標準試薬) KIO_3 ~~(容量分析用標準物質，よう素酸カリウム，標準試薬，K 8005)~~

ヨウ素酸カリウム試液 ヨウ素酸カリウム (標準試薬) 7.1gを量り，水を加えて溶かして1,000mlとする。遮光して保存する。

ヨウ素試液 ヨウ素14gを量り，ヨウ化カリウム溶液 (2 → 5) 100mlを加えて溶かし，塩酸 (1 → 4) 1 ml及び水を加えて1,000mlとする。遮光して保存する。

ヨウ素・四塩化炭素試液 ヨウ素12.5gを量り，四塩化炭素1,000mlを加え一夜放置して溶かす。

ヨウ素・ヨウ化カリウム試液 ヨウ素0.5g及びヨウ化カリウム1.5gを量り，水25mlを加えて溶かす。

ライトグリーン・SF黄口 $\text{C}_{37}\text{H}_{34}\text{N}_2\text{Na}_2\text{O}_9\text{S}_3$ 本品は，~~二ナトリウム4-{ビス[4-(N-エチル-N(3-スルホナトフェニルメチル)アミノ]フェニル}メチリオ}ベンゼンスルホナート4-(ビス{4-[N-エチル-N(3-スルホナトフェニルメチル)アミノ]フェニル}メチリウムイル)ベンゼンスルホン酸二ナトリウム~~で暗緑色の粒又は粉末である。本品の水溶液 (1 → 1,000) 5 mlに水酸化ナトリウム溶液 (1 → 10) 1 mlを加えるとき，液は淡緑色に変わる。

比吸光度 $E_{1\text{cm}}^{1\%}$ (633nm付近の極大吸収部) = 606以上

本品 ~~0.010g~~ ~~10.0mg~~ を量り，酢酸アンモニウム溶液 (3 → 2,000) を加えて溶かして正確に100mlとする。この液10mlを正確に量り，酢酸アンモニウム溶液 (3 → 2,000) を加えて100mlとした液は，波長631~635nmに極大吸収部がある。

ラウリル硫酸ナトリウム 日本薬局方ラウリル硫酸ナトリウムを用いる。

ラウリル硫酸ナトリウム・プロピレングリコール試液 ラウリル硫酸ナトリウム 1 gを量り，水80mlを加えて溶かし，次にプロピレングリコール20mlを加えて混和する。

卵白 正常な卵白を用いる。

卵白試液 卵白10gを量り，水40mlを加えて振り混ぜる。

L-リシン塩酸塩 L-リシン一塩酸塩を見よ。 ~~$\text{H}_2\text{N}(\text{CH}_2)_4\text{CH}(\text{NH}_2)\text{COOH} \cdot \text{HCl}$ (L-リジン一塩酸塩，特級)~~

L-リシン一塩酸塩 $\text{H}_2\text{N}(\text{CH}_2)_4\text{CH}(\text{NH}_2)\text{COOH} \cdot \text{HCl}$ [L(+)-リシン塩酸塩，K 9053:1993]

本品は、白色の結晶又は結晶性の粉末である。

含量 99.0%以上 (乾燥物換算) 本品を乾燥したものは、L-リジン塩酸塩
(H₂N(CH₂)₄CH(NH₂)COOH · HCl) 99.0%以上を含む。

確認試験 (1) 本品は、塩化物の反応を呈する。

(2) 本品を赤外吸収スペクトル測定法中の臭化カリウム錠剤法により測定する
とき、2,100cm⁻¹、1,630cm⁻¹、1,500cm⁻¹、1,420cm⁻¹、1,330cm⁻¹の
それぞれの付近に吸収帯を認める。

比旋光度 $[\alpha]_{D}^{20} = +20.5 \sim +21.5^{\circ}$ (乾燥後、4g、塩酸(1→2)、50ml)

乾燥減量 0.5%以下 (105℃、3時間)

定量法 本品を乾燥し、その約0.1gを精密に量り、ギ酸3mlを加えて溶かし、
0.1mol/L過塩素酸液20mlを正確に量って加え、水浴上で30分間加熱する。冷後、
非水滴定用酢酸を加えて60mlとし、過量の過塩素酸を0.1mol/L酢酸ナトリウム
液で滴定する。終点の確認は、通例、電位差計を用いる。指示薬(クリスタル
バイオレット・酢酸試液1ml)を用いる場合は、液の黄色が黄緑色を経て青緑
色になるときとする。別に空試験を行う。

0.1mol/L過塩素酸液1ml = 9.133mg C₆H₁₄N₂O₂ · HCl

リトマス紙、青色 ~~〔リトマス紙、青色リトマス紙〕、K 9071~~

リトマス紙、赤色 ~~〔リトマス紙、赤色リトマス紙〕、K 9071~~

リナロオール定量用塩化アセチル 塩化アセチル、リナロオール定量用を見よ。

硫化アンモニウム試液 (NH₄)₂S 〔硫化アンモニウム溶液(無色)、~~特級~~K 8943]
遮光した小瓶に全満して保存する。

硫化水素 H₂S 本品は、無色の特異なおいがある気体で、空気より重く、水に
溶ける。硫化鉄に硫酸(1→20)又は塩酸(1→4)を作用させて調製する。

硫化水素試液 硫化水素の飽和溶液を用いる。遮光した小瓶にほとんど全満し、な
るべく冷所に保存する。強い硫化水素のおいがある。

硫化鉄 硫化鉄(II)を見よ。 ~~FeS~~ 〔硫化鉄(II)(硫化水素発生用)、硫化水素発
生用〕

硫化鉄(II) FeS 〔硫化水素発生用、K 8948]

硫化ナトリウム 硫化ナトリウム9水和物を見よ。 ~~Na₂S · 9H₂O~~ (特級)

硫化ナトリウム9水和物 Na₂S · 9H₂O 〔硫化ナトリウム九水和物、K 8949]

硫化ナトリウム試液 硫化ナトリウム5gを量り、水10ml及びグリセリン30mlの混
液を加えて溶かす。又は水酸化ナトリウム5gを量り、水30ml及びグリセリン90ml
の混液を加えて溶かし、この液の半容量に冷却しながら硫化水素を飽和した後、
残りの半容量を混和する。遮光した小瓶にほとんど全満し、密栓して保存する。
調製後3か月以内に使用する。

硫酸 H₂SO₄ ~~(特級)~~ 〔K 8951]

硫酸、希 硫酸5.7mlを量り、水10mlに徐々に加え、冷後、水を加えて100mlとする。

硫酸亜鉛 硫酸亜鉛7水和物を見よ。 ~~ZnSO₄ · 7H₂O~~ (硫酸亜鉛七水和物、特級)

硫酸亜鉛7水和物 ZnSO₄ · 7H₂O 〔硫酸亜鉛七水和物、K 8953]

硫酸アルミニウムカリウム 硫酸カリウムアルミニウム12水和物を見よ。 ~~AlK(SO₄)₃~~

~~・12H₂O (特級)~~

硫酸アンモニウム (NH₄)₂SO₄ (特級) [K 8960]

硫酸アンモニウム鉄(Ⅱ) 6水和物 Fe(NH₄)₂(SO₄)₂・6H₂O [硫酸アンモニウム鉄(Ⅱ) 六水和物, K 8979]

硫酸アンモニウム鉄(Ⅲ) 12水和物 FeNH₄(SO₄)₂・12H₂O [硫酸アンモニウム鉄(Ⅲ)・12水, K 8982]

硫酸カリウム K₂SO₄ (特級) [K 8962]

硫酸カリウムアルミニウム12水和物 AlK(SO₄)₂・12H₂O [硫酸カリウムアルミニウム・12水, K 8255]

硫酸銀 Ag₂SO₄ (特級) [K 8965]

硫酸水素カリウム KHSO₄ [硫酸水素カリウム(酸性硫酸カリウム), 特級] [K 8972]

硫酸水素テトラブチルアンモニウム 本品は、硫酸水素テトラブチルアンモニウム ([(C₄H₉)₄N] HSO₄) 98.0%以上を含む。

本品は、白色の結晶性の粉末である。

本品 1 gの水溶液 (1→20) はほとんど澄明である。

純度試験 塩化物 Clとして0.001%以下

本品 2 gの水溶液 (~~2→20~~ 1→10) に硝酸 (1→3) 5 ml及び硝酸銀溶液 (1→50) 1 mlを加え15分間放置したときに生じる白濁は、塩化物イオン標準原液 (1→10) 2 mlに硝酸 (1→3) 5 ml及び硝酸銀溶液 (1→50) 1mlを加え15分間放置したときに生じる白濁より濃くない。

定量法 本品約0.7gを精密に量り、あらかじめ水をフラスコに入れ15分間沸騰させた後、ソーダ石灰管を連結して空気中の二酸化炭素を遮り、冷却した水(使用時に調製する。) 100mlを加えて溶かし、水酸化ナトリウム溶液 (0.1mol/L) で適定する(指示薬 プロモクレゾールグリーン・メチルレッド試液)。

0.1mol/L水酸化ナトリウム溶液1ml=0.033954g [(C₄H₉)₄N] HSO₄

硫酸水素ナトリウム 硫酸水素ナトリウム 1水和物を見よ。NaHSO₄・H₂O [硫酸水素ナトリウム(酸性硫酸ナトリウム), 特級]

硫酸水素ナトリウム 1水和物 NaHSO₄・H₂O [硫酸水素ナトリウム一水和物, K 8973:1992]

本品は白色の結晶又は結晶性の粉末で、その水溶液は酸性を呈する。

含量 98.0~102.0%

本品の水溶液に溶液に塩化バリウム溶液 (3→25) を加えるとき、白色の沈殿を生じる。

確認試験 本品の水溶液 (1→10) 5mlに塩化バリウム溶液 (1→10) 1mlを加えるとき、白色の沈殿を生じる。

定量法 本品約4 gを精密に量り、新たに煮沸して冷却した水50mlを加えて溶かし、1 mol/L 水酸化ナトリウム溶液で適定する(指示薬 プロモチモールブルー試液1~2滴)。

1 mol/L 水酸化ナトリウム溶液 1 ml = 138.1 mg NaHSO₄ · H₂O

硫酸セリウム (IV) アンモニウム 硫酸セリウム (IV) アンモニウム 2 水和物 を見よ。~~Ce(SO₄)₂ · 2(NH₄)₂SO₄ · 4H₂O~~ [硫酸セリウム(IV)アンモニウム(4水塩), 特級]

硫酸セリウム (IV) アンモニウム 2 水和物 Ce(NH₄)₄(SO₄)₄ · 2H₂O [硫酸四アンモニウムセリウム(IV)二水和物, K 8977]

硫酸第一鉄 硫酸鉄 (II) を見よ。

硫酸第一鉄アンモニウム 硫酸鉄 (II) アンモニウム を見よ。

硫酸第一鉄試液 硫酸鉄 (II) 8 gを量り, 新たに煮沸し冷却した水100mlを加えて溶かす。用時調製する。

硫酸第一鉄試液, 酸性 硫酸7.5mlを量り, 水100mlに加え, 加熱しながら, 硫酸第一鉄約80gを溶解する。次に, 硝酸7.5mlを量り, 水20mlに加え混ぜ, 加温する。更に, 先の硫酸第一鉄溶液を加え, 混合液が赤色の蒸気を発し, 液色が黒色から赤色に変わるまで濃縮する。第一鉄塩の反応を呈さなくなるまで, 硝酸数滴を加えて, 再び加温する。冷後, この濃縮液に水を加えて110mlとする。用時調製する。

硫酸第二水銀試液 黄色酸化第二水銀5gを量り, 水40mlを加え, かき混ぜながら硫酸20mlを徐々に加え, 更に水40mlを加えてよくかき混ぜて溶かす。

硫酸第二セリウムアンモニウム 硫酸セリウム (IV) アンモニウム を見よ。

硫酸第二鉄 硫酸鉄 (III) を見よ。

硫酸第二鉄アンモニウム 硫酸鉄 (III) アンモニウム を見よ。

硫酸第二鉄アンモニウム・塩酸試液溶液 (1 → 1,000) 用時調製する。

硫酸第二鉄アンモニウム試液 硫酸鉄 (III) アンモニウム14gを量り, 水100mlを加え, よく振り混ぜて溶かした後, ろ過し, 硫酸10mlを加える。褐色瓶に保存する。

硫酸第二鉄アンモニウム・硫酸試液 硫酸鉄 (III) アンモニウム15gを量り, 水90mlを加えて溶かした後, ろ過し, 硫酸 (1 → 35) 10mlを加える。

硫酸第二鉄試液 硫酸鉄 (III) 50gを量り, 水約500mlを加えてよく振り混ぜ, 次に硫酸200mlを加え, よく振り混ぜて溶かし, 水を加えて1,000mlとする。

硫酸鉄 (II) 硫酸鉄 (II) 7 水和物 を見よ。~~FeSO₄ · 7H₂O~~ (特級)

硫酸鉄 (II) 7 水和物 FeSO₄ · 7H₂O [硫酸鉄 (II) 七水和物, K 8978]

硫酸鉄 (III) 硫酸鉄 (III) n 水和物 を見よ。~~Fe₂(SO₄)₃ · 7H₂O~~ (特級)

硫酸鉄 (III) n 水和物 Fe₂(SO₄)₃ · n H₂O [K 8981]

硫酸鉄 (II) アンモニウム ~~Fe(NH₄)₂(SO₄)₂ · 6H₂O~~ [硫酸鉄 (II) アンモニウム (モール塩), 特級] 硫酸アンモニウム鉄 (II) 6 水和物 を見よ。

硫酸鉄 (III) アンモニウム 硫酸アンモニウム鉄 (III) 12水和物 を見よ。~~FeNH₄(SO₄)₂ · 12H₂O~~ [硫酸鉄 (III) アンモニウム · 12水 (鉄みょうばん), 特級]

硫酸銅 硫酸銅 (II) 5 水和物 を見よ。~~CuSO₄ · 5H₂O~~ [硫酸銅 (II) 五水和物, 特級]

硫酸銅・アンモニア試液 硫酸銅0.4gを量り, クエン酸溶液 (1 → 5) / アンモニア試液の混液 (3 : 2) 50mlを加えて溶かす。

硫酸銅 (II) 5水和物 $\text{CuSO}_4 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$ [硫酸銅 (II) 五水和物, K 8983]

硫酸銅, 無水 CuSO_4 [硫酸銅 (II), K 8984]

硫酸ナトリウム 硫酸ナトリウム10水和物を見よ。 ~~$\text{Na}_2\text{SO}_4 \cdot 10\text{H}_2\text{O}$ (特級)~~

硫酸ナトリウム10水和物 $\text{Na}_2\text{SO}_4 \cdot 10\text{H}_2\text{O}$ [硫酸ナトリウム十水和物, K 8986]

硫酸ナトリウム, 無水 Na_2SO_4 [硫酸ナトリウム, ~~(無水), (特級)~~ K 8987]

硫酸ニッケルアンモニウム 硫酸ニッケル(II)アンモニウム6水和物を見よ。 ~~$\text{NiSO}_4 \cdot (\text{NH}_4)_2\text{SO}_4 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$ [硫酸ニッケル(II)アンモニウム6水和物, 特級]~~

硫酸ニッケル(II)アンモニウム ~~6~~ 水和物 $\text{NiSO}_4(\text{NH}_4)_2\text{SO}_4 \cdot 6\text{H}_2\text{O}$ [硫酸ニッケル(II)アンモニウム六水和物, K 8990]

硫酸ヒドラジニウム $\text{N}_2\text{H}_6\text{SO}_4$ [K 8992]

硫酸ヒドラジン 硫酸ヒドラジニウムを見よ。 ~~(硫酸ヒドラジニウム, 特級)~~

硫酸マグネシウム 硫酸マグネシウム7水和物を見よ。 ~~$\text{MgSO}_4 \cdot 7\text{H}_2\text{O}$ (特級)~~

硫酸マグネシウム7水和物 $\text{MgSO}_4 \cdot 7\text{H}_2\text{O}$ [硫酸マグネシウム七水和物, K 8995]

硫酸マグネシウム試液 硫酸マグネシウム11gを量り, 水50mlを加えて溶かし, 100mlとする。 (0.5mol/4L)

硫酸マンガン 硫酸マンガン (II) 5水和物を見よ。 ~~$\text{MnSO}_4 \cdot 4 \sim 5\text{H}_2\text{O}$ (特級)~~

硫酸マンガン (II) 5水和物 $\text{MnSO}_4 \cdot 5\text{H}_2\text{O}$ [硫酸マンガン (II) 五水和物, K 8997]

硫酸マンガン試液 硫酸マンガン90gを量り, 水約200ml, リン酸約175ml及び硫酸 (1 → 2) 約350mlを加えて溶かし, 水を加えて1,000mlとする。

硫酸リチウム 硫酸リチウム1水和物を見よ。 ~~$\text{Li}_2\text{SO}_4 \cdot \text{H}_2\text{O}$ (特級)~~

硫酸リチウム1水和物 $\text{Li}_2\text{SO}_4 \cdot \text{H}_2\text{O}$ [硫酸リチウム一水和物, K 8994]

流動パラフィン パラフィン, 流動を見よ。

リン酸 H_3PO_4 ~~[りん酸, 特級] K 9005]~~

リン酸二アンモニウム $(\text{NH}_4)_2\text{HPO}_4$ ~~[りん酸水素二アンモニウム, 特級] K 9016]~~

リン酸二アンモニウム緩衝液 リン酸二アンモニウム150gを量り, 水700mlを加えて溶かし, 塩酸 (1 → 2) でpH~~≒~~5.5に調整し, 水を加えて1,000mlとする。

リン酸一カリウム KH_2PO_4 ~~[りん酸二水素カリウム, 特級] K 9007]~~

リン酸一カリウム, pH測定用 KH_2PO_4 ~~[りん酸二水素カリウム, pH標準液測定用,] K 9007]~~

リン酸二カリウム K_2HPO_4 ~~[りん酸水素二カリウム, 特級] K 9017]~~

リン酸緩衝液 (pH6.8) リン酸一カリウム3.40g及び無水リン酸二ナトリウム3.55gを量り, 合わせ, 水を加えて溶かして1,000mlとする。

リン酸緩衝液 (pH7) 第1液: pH測定用リン酸一カリウム27.218gを量り, 水を加えて溶かして1,000mlとする。

第2液: ~~0.2mol/4mol/L~~水酸化ナトリウム溶液を用いる。

第1液50.0mlと第2液29.54mlを混和し, 水を加えて200mlとする。

リン酸緩衝液 (pH7.4) 第1液: pH測定用リン酸一カリウム6.80gを量り, 水を加えて溶かして500mlとする。

第2液：0.2mol/L水酸化ナトリウム溶液を用いる。

第1液50.0mlと第2液19.75mlを混和し、水を加えて100mlとする。

リン酸緩衝液 (pH7.5) 第1液：リン酸二ナトリウム53.7gを量り、水を加えて溶かして1,000mlとする。

第2液：リン酸一カリウム20.4gを量り、水を加えて溶かして1,000mlとする。

第1液21容量と第2液4容量とを混和し、両液を用いてpHを7.5に調整する。

リン酸緩衝液 (pH7.6) 第1液：リン酸一カリウム4.54gを量り、水を加えて溶かして500mlとする。

第2液：無水リン酸二ナトリウム4.73gを量り、水を加えて溶かして500mlとする。

第1液13容量と第2液87容量とを混和し、両液を用いてpH~~を~~7.6に調整する。

リン酸緩衝液 (pH8) 第1液：無水リン酸二ナトリウム23.88gを量り、水を加えて溶かして1,000mlとする。

第2液：リン酸一カリウム9.07gを量り、水を加えて溶かして1,000mlとする。

第1液50容量と第2液7容量とを混和し、両液を用いてpH~~を~~8に調整する。

リン酸一ナトリウム $\text{NaH}_2\text{PO}_4 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ ~~←〔りん酸二水素ナトリウム二水和物，特級〕~~ K 9009]

リン酸二ナトリウム $\text{Na}_2\text{HPO}_4 \cdot 12\text{H}_2\text{O}$ ~~←〔りん酸水素二ナトリウム・12水，特級〕~~ K 9019]

リン酸二ナトリウム，無水 Na_2HPO_4 ~~〔りん酸水素二ナトリウム，(無水)，特級〕~~ K 9020]

リン酸二ナトリウム，無水，pH測定用 Na_2HPO_4 [りん酸水素二ナトリウム(無水)，pH標準液測定用，K 9020]

リンモリブデン酸 ~~$\text{P}_2\text{O}_5 \cdot 24\text{MoO}_3 \cdot n\text{H}_2\text{O}$~~ $\text{H}_3(\text{PMo}_{12}\text{O}_{40}) \cdot n\text{H}_2\text{O}$ [12モリブド(VI)りん酸 n 水和物，K9026:1991]

本品は、黄色の結晶又は結晶性の粉末である。

純度試験(1) 硫酸塩 (SO₄として0.005%以下) 本品3.0gを正確に量り、塩酸(2→3) 1.5ml及び水を加えて溶かして60mlにし、これをA液とする。A液20mlをとり、これにエタノール(95) 3 mlと塩化バリウム溶液(1→10) 2 mlを加え、更に水を加えて30mlとする。これを1時間放置して検液とする。別にA液20mlをとり、塩化バリウム溶液(1→10) 2 mlを加えて沸騰するまで加熱する。1時間放置した後、水で湿した定量分析用ろ紙(5種C)を用いてろ過し、ろ液にエタノール(95) 3 mlを加える。これに硫酸イオン標準原液0.5mlを加え、水を加えて30mlとし、比較液とする。検液の呈する濁度は、比較液の呈する濁度より濃くない。

(2) カルシウム 0.02%以下 本品1.0gに水を加えて溶かして100mlとし、検液とする。本品1.0gに水50mlを加えて溶かし、カルシウム標準液(0.1mg/ml) 1 mlを加え、次いで水を加えて100mlとし、比較液とする。検液及び比較液につき、次の操作条件で原子吸光度を測定するとき、検液の吸光度は比較液の吸光度から検液の吸光度を差し引いた数値を超えない。

操作条件

光源ランプ カルシウム中空陰極ランプ

分析線波長 422.7nm

支燃性ガス 亜酸化窒素

可燃性ガス アセチレン

レゾルシン ~~C₆H₄(OH)₂~~ (特級) レゾルシノールを見よ。

レゾルシノール C₆H₄(OH)₂ [レゾルシノール, K 9032]

2. 容量分析用標準液

0.05~~mol/l~~mol/L EDTA溶液 1,000ml中エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム ($C_{10}H_{14}N_2Na_2O_8 \cdot 2H_2O$, 分子量372.24) 18.61~~g~~gを含む。

エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム18.7gを量り,新たに煮沸し冷却した水を加えて溶かして1,000mlとする。

標定 本液20mlを正確に量り,アンモニア・塩化アンモニウム緩衝液 (pH 10.7) 2 ml及び水を加えて約100mlとし, 0.025~~mol/l~~mol/L塩化亜鉛溶液で滴定する (指示薬 エリオクロムブラックT試液 5滴)。

0.025~~mol/l~~mol/L塩化亜鉛溶液の消費量 (ml)

規定度係数 =
$$\frac{0.05\text{mol/l EDTA溶液の採取量 (ml)} \times 2}{\text{消費量 (ml)}}$$

0.02~~mol/l~~mol/L EDTA溶液 エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム7.5gを用い, 0.05~~mol/l~~mol/L EDTA溶液に準じて調製する。

標定 本液25mlを正確に量り,アンモニア・塩化アンモニウム緩衝液 (pH10.7) 2 ml及び水を加えて約100mlとし, 0.025~~mol/l~~mol/L塩化亜鉛溶液で滴定する (指示薬 エリオクロムブラックT試液 3滴)。

0.01~~mol/l~~mol/L EDTA溶液 エチレンジアミン四酢酸二ナトリウム3.8gを用い, 0.05~~mol/l~~mol/L EDTA溶液に準じて調製する。

標定 本液50mlを正確に量り,アンモニア・塩化アンモニウム緩衝液 (pH 10.7) 2 ml及び水を加えて約100mlとし, 0.025~~mol/l~~mol/L塩化亜鉛溶液で滴定する (指示薬 エリオクロムブラックT試液 3滴)。

0.5~~mol/l~~mol/Lエタノール製水酸化カリウム溶液 0.5~~mol/l~~mol/L水酸化カリウム溶液, エタノール製を見よ。

0.1~~mol/l~~mol/Lエタノール製水酸化カリウム溶液 0.1~~mol/l~~mol/L水酸化カリウム溶液, エタノール製を見よ。

0.05~~mol/l~~mol/L塩化亜鉛溶液 1,000ml中塩化亜鉛 ($ZnCl_2$, 分子量136.3~~02~~) 6.81~~5~~6gを含む。

亜鉛 (標準試薬) 約1.6gを精密に量り, ビーカーに入れ, 塩酸 (1 → 4) 30mlを加え, 時計皿で覆い, 放置して水素ガスの発生が緩やかになってから水浴上で穏やかに加熱して溶かした後, 時計皿及びビーカーの内壁を水洗し, 水浴上でほとんど乾固するまで濃縮し, 冷後, 水を加えて正確に500mlとする。

0.025~~mol/l~~mol/L塩化亜鉛溶液 亜鉛 (標準試薬) 約1.6gを精密に量り, 0.05~~mol/l~~mol/L 塩化亜鉛溶液の調製と同様に操作し, 冷後, 水を加えて正確に1,000mlとする。

0.1~~mol/l~~mol/L塩化ナトリウム溶液 1,000ml中塩化ナトリウム ($NaCl$, 分子量58.44) 5.844gを含む。

塩化ナトリウム(標準試薬)を110℃で2時間乾燥し,その5.844gを正確に量り,水を加えて溶かし, 正確に1,000mlとする。

6~~mol/l~~mol/L塩酸 塩酸570540mlを用い, 1~~mol/l~~mol/L塩酸に準じて調製し, 標定

する。

~~1 mol/l~~ 1 mol/L 塩酸 1,000ml 中塩酸 (HCl) 36.461g を含む。

塩酸 ~~95.90~~ 95.90ml を量り、水を加えて 1,000ml とする。

標定 あらかじめ約 270°C で 1 時間乾燥した炭酸ナトリウム (標準試薬) 約 1.5g を精密に量り、水 100ml を加えて溶かし、この塩酸で滴定する (指示薬 ブロモフェノールブルー試液 2 滴)。ただし、終点付近で一度煮沸して二酸化炭素を追い出した後、直ちに滴定を続ける。

$$1 \text{ mol/l} \text{ mol/L} \text{ 塩酸 } 1 \text{ ml} = 52.99 \cdot \text{mg } \text{Na}_2\text{CO}_3$$

~~0.5 mol/l~~ 0.5 mol/L 塩酸 塩酸 ~~47.545~~ 47.545ml を用い、~~1 mol/l~~ 1 mol/L 塩酸に準じて調製し、標定する。

~~0.2 mol/l~~ 0.2 mol/L 塩酸 ~~1 mol/l~~ 1 mol/L 塩酸に水を加えて 5 倍容量に薄めるか、又は塩酸 ~~19.18~~ 19.18ml を用いて ~~1 mol/l~~ 1 mol/L 塩酸に準じて調製する。~~1 mol/l~~ 1 mol/L 塩酸に準じて標定する。

~~0.1 mol/l~~ 0.1 mol/L 塩酸 ~~1 mol/l~~ 1 mol/L 塩酸に水を加えて 10 倍容量に薄めるか、又は塩酸 ~~9.59.0~~ 9.59.0ml を用いて ~~1 mol/l~~ 1 mol/L 塩酸に準じて調製する。~~1 mol/l~~ 1 mol/L 塩酸に準じて標定する。

~~0.02 mol/l~~ 0.02 mol/L 塩酸 ~~0.1 mol/l~~ 0.1 mol/L 塩酸に水を加えて 5 倍容量に薄め、~~1 mol/l~~ 1 mol/L 塩酸に準じて標定する。

~~0.01 mol/l~~ 0.01 mol/L 塩酸 ~~0.1 mol/l~~ 0.1 mol/L 塩酸に水を加えて 10 倍容量に薄め、~~1 mol/l~~ 1 mol/L 塩酸に準じて標定する。

~~0.5 mol/l~~ 0.5 mol/L 塩酸ヒドロキシルアミン溶液 1,000ml 中塩酸ヒドロキシルアミン (NH₂OH · HCl, 分子量 69.49) 34.7545g を含む。

塩酸ヒドロキシルアミン 35g を正確に量り、水 40ml を加え、約 65°C に加熱して溶かし、冷後、ブロモフェノールブルー・水酸化ナトリウム試液 15ml を加え、更にエタノールを加えて正確に 1,000ml とする。用時調製する。

~~0.1 mol/l~~ 0.1 mol/L 過塩素酸液 1,000ml 中過塩素酸 (HClO₄, 分子量 100.46) 10.0546g を含む。

過塩素酸約 8.5ml を量り、1,000ml のメスフラスコに入れ、酢酸 950ml を加えてよく振り混ぜ、無水酢酸 15ml を 1 ml ずつよく振り混ぜながら加えた後、酢酸を加えて 1,000ml とし、一夜放置する。

標定 あらかじめ 120°C で 1 時間乾燥したフタル酸水素カリウム約 0.4g を精密に量り、酢酸 50ml を加え、水浴上で加熱して溶かし、この過塩素酸液で滴定する (指示薬 クリスタルバイオレット・酢酸試液 1 ml)。終点は、液の紫色が青色になるときとする。

$$\text{フタル酸水素カリウムの採取量 (g)} \times 1,000 \times 10$$

$$\text{規定度係数} = \frac{\quad}{\quad}$$

$$0.1 \text{ mol/l} \text{ mol/L} \text{ 過塩素酸液の消費量 (ml)} \times 204.22$$

~~0.02 mol/l~~ 0.02 mol/L 過マンガン酸カリウム溶液 1,000ml 中過マンガン酸カリウム (KMnO₄, 分子量 158.03) 3.16107g を含む。

過マンガン酸カリウム約 3.3g を量り、水 1,000ml を加えて溶かし、15 分間煮

沸し、密栓したフラスコ中に少なくとも2日間放置した後ガラスろ過器（G4）を用いてろ過する。遮光した共栓瓶に保存し、たびたび標定し直す。

標定 あらかじめ110℃で恒量になるまで乾燥したシュウ酸ナトリウム（標準試薬）約0.2gを精密に量り、水約250mlを加えて溶かし、硫酸7mlを加え、約70℃に加熱し、熱時、この過マンガン酸カリウム溶液で滴定する。

~~0.02mol/L~~過マンガン酸カリウム溶液 1 ml = 6.700mg $\text{Na}_2\text{C}_2\text{O}_4$

~~15mol/L~~ギ酸 1,000ml中ギ酸（ HCOOH ，分子量46.03）690.4gを含む。

ギ酸705gを量り、水を加えて1,000mlとする。

標定 本液1mlを正確に量り、水を加えて50mlとし、~~0.5mol/L~~水酸化ナトリウム溶液で滴定する（指示薬 フェノールフタレイン試液3滴）。

~~0.02mol/L~~酢酸亜鉛溶液 1,000ml中酢酸亜鉛（ $\text{Zn}(\text{CH}_3\text{COO})_2 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ ，分子量219.543）4.3901gを含む。

酢酸亜鉛4.43gを量り、水20ml及び酢酸（1→20）2mlを加えて溶かし、水を加えて1,000mlとする。

標定 本液25mlを正確に量り、アンモニア・塩化アンモニウム緩衝液（pH10.7）2ml及び水を加えて約100mlとし、~~0.02mol/L~~ EDTA溶液で滴定する（指示薬 エリオクロムブラックT試液3滴）。

~~0.01mol/L~~酢酸亜鉛溶液 1,000ml中酢酸亜鉛（ $\text{Zn}(\text{CH}_3\text{COO})_2 \cdot 2\text{H}_2\text{O}$ ，分子量219.543）2.1954gを含む。

酢酸亜鉛約2gを量り、水を加えて溶かして1,000mlとする。

標定 本液25mlを正確に量り、アンモニア・塩化アンモニウム緩衝液（pH 10.7）2ml及び水を加えて約100mlとし、~~0.01mol/L~~ EDTA溶液で滴定する（指示薬 エリオクロムブラックT試液3滴）。

~~0.1mol/L~~酢酸ナトリウム溶液 1,000ml中酢酸ナトリウム（ $\text{CH}_3\text{COONa} \cdot 3\text{H}_2\text{O}$ ，分子量136.08）13.6108gを含む。

無水酢酸ナトリウム8.2gを量り、酢酸を加えて溶かして1,000mlとする。

標定 本液25mlを正確に量り、酢酸50mlを加え、~~0.1mol/L~~過塩素酸液で滴定する（指示薬 α -ナフトールベンゼイン試液1ml）。終点は、液の黄褐色が黄色を経て緑色を呈するときとする。空試験を行い補正する。

~~0.1mol/L~~酢酸マグネシウム溶液 1,000ml中酢酸マグネシウム（ $\text{Mg}(\text{CH}_3\text{COO})_2 \cdot 4\text{H}_2\text{O}$ ，分子量214.46）21.4546gを含む。

酢酸マグネシウム21.5gを量り、水を加えて溶かして1,000mlとする。

標定 本液10mlを正確に量り、水50ml及びアンモニア・塩化アンモニウム緩衝液（pH10.7）3mlを加え、~~0.05mol/L~~ EDTA溶液で滴定する（指示薬 エリオクロムブラックT試液3滴）。

~~0.1mol/L~~三塩化チタン溶液 1,000ml中三塩化チタン（ TiCl_3 ，分子量154.24）15.424gを含む。

三塩化チタン溶液75mlを量り、塩酸75mlを加え、新たに煮沸し冷却した水を加えて1,000mlとし、ビュレット付きの遮光した瓶に入れ、空気を水素で置換し、2日間放置した後使用する。用時標定する。